

博士論文（要約）

論文題目 日米交流史における「外国研究」とライブラリー
—福田なをみの軌跡を手掛かりに—

氏名 安江（小出） はずみ

日米交流史における「外国研究」とライブラリー

福田なをみの軌跡を手掛かりに

目次

序章

はじめに	1
1. 問題意識と研究目的、研究課題	
1) 問題意識	3
2) 研究目的	8
3) 研究課題	9
2. 先行研究	10
3. 論文の構成と概要	22
4. 図書館用語とアーカイブズ用語について	24
5. 本論文で使用する資料について	27
6. 表記・翻訳等について	28

第一章 日本の中のアメリカ、アメリカの中の日本

—福田なをみの生い立ちと教育—

はじめに

第一節 生い立ちと環境

1. 両親	30
2. 幼少時の環境	33

第二節 教育と留学

1. 東京女子大学英語専攻部卒業—英語と日本語	35
2. 日本研究者 R.ライシャワー (Robert K. Reischauer) との出会い	38
3. ミシガン大学留学—日本語教師とライブラリアン	43
4. 議会図書館 (LC) での実習—ロックフェラー財団との繋がり	48

まとめ	51
-----	----

第二章 日米親善から敵国情報へ

はじめに

第一節 帰国後の福田—東京帝国大学図書館、LC との関わり

1. 東京帝国大学図書館	53
--------------	----

2. LC 資料収集の手伝い	58
3. 1940 年代初めの LC の日本語蔵書	61
第二節 戦時中の福田—アメリカ研究とアメリカに関する情報資源	68
1. 立教大学図書館と当時のアメリカ研究	68
2. 帝国図書館における資料群	76
3. 太平洋協会とアメリカ情報	85
第三節 戦時中の福田—外務省調査局での勤務	
1. 外務省での福田	91
2. 外務省情報部の情報施策	93
3. 外務省調査部と情報収集	97
まとめ	101

第三章 軍政とライブラリー

はじめに

第一節 GHQ での仕事

1. 福田の職場：G-2 調査課？	108
2. CIS の機能	111
3. CIS ライブラリー	114
4. 福田の消息	119

第二節 GHQ とライブラリー

1. 軍人用ライブラリー・サービス	125
1) 娯楽用ライブラリー	126
2) 情報・教育用ライブラリー	129
2. 軍政用ライブラリーと調査資料	
1) GHQ 各部局内	133
2) 敵国情報から占領のための情報へ	136
3) 調査資料と LC の役割	139
4) OSS R&A と情報資源	141

第三節 GHQ の図書館政策と福田の関わり

1. 国会図書館から国立国会図書館へ	148
2. ダウズ顧問付き	154
3. 図書館員養成問題と Japan Library School	160

第四節 ミシガン大学からのオファー

まとめ	166
-----	-----

第四章 国際交流から日本研究へ

はじめに

第一節 初期の国際文化会館図書室

1. 国際文化会館の創立と図書室の設置・・・・・・・・・・178
2. 草創期の図書室の活動・・・・・・・・・・183
 - 1) 図書館サービスの構築・・・・・・・・・・184
 - (1) 蔵書構築・・・・・・・・・・185
 - (2) 来日研究者のサポート・・・・・・・・・・187
 - 2) 図書館に関する研究会・・・・・・・・・・190
 - 3) レファレンス・サービス研究・・・・・・・・・・192

第二節 アメリカ図書館研究調査団

1. 視察旅行団のアイデア・・・・・・・・・・193
2. 団員と準備・・・・・・・・・・196
3. 視察旅行・・・・・・・・・・201
4. 調査団の成果の展開
 - 1) 参考図書ガイド・・・・・・・・・・203
 - 2) 団員たちによる展開・・・・・・・・・・206
 - 3) 成果の評価・・・・・・・・・・210

第三節 日本研究への収斂

1. 特色ある活動：協力、あっせん、援助・・・・・・・・・・211
2. 国際文化会館の方向性と利用者サービス・・・・・・・・・・214
3. 情報資源の編纂と調査
 - 1) 書誌などの出版・・・・・・・・・・217
 - (1) 日本語資料への英文案内—日本研究のために・・・・・・・・・・218
 - (2) Books on Japan (日本関係欧文図書)・・・・・・・・・・219
 - (3) 研究資源へのアクセス案内・・・・・・・・・・221
 - (4) 国際文化交流・・・・・・・・・・222
 - 2) 海外出張と調査
 - (1) 全米日本研究図書館調査(1962-63年)・・・・・・・・・・222
 - (2) カリフォルニア大学バークレー校蔵書評価ほか(1964年)・・・・・・・・・・224
 - (3) 図書購入円滑化の旅(1967年3月)・・・・・・・・・・225

まとめ・・・・・・・・・・227

第五章 アメリカの日本研究とライブラリー

はじめに

第一節	アメリカにおける日本研究環境の変化	
1.	日本に関する学術研究体制のはじまり	250
2.	日本語習得と研究用ツール	254
1)	学術研究用の日本語能力養成	254
2)	語学将兵の訓練	258
3)	研究・調査・学習の情報資源とツール	265
4)	戦後の研究者・資料の急増と学会の成長	268
第二節	メリーランド大学東アジア図書館	
1.	メリーランド大学とゴードン・プラング (Gordon Prange) の G-2 資料	273
2.	メリーランド大学図書館と東アジア・コレクション	275
3.	福田の一年	279
1)	福田流	280
2)	組織上の問題	282
3)	資料の状態と種類	283
4.	資料の性質	287
第三節	ミシガン大学アジア図書館	
1.	福田着任以前のアジア図書館	290
2.	福田在職時代 (1970年3月-1978年6月) のアジア図書館	
1)	福田なをみ就任	294
2)	Bibliographer の仕事	297
3)	Japanese Bibliography (日本語資料調査法) コース担当	304
4)	資料収集、資金集め	306
5)	コンサルティング、日本図書館のネットワーク、会議参加	310
6)	日本研究のアウトプット	313
3.	退職後の活動	315
	まとめ	318

終章 外国研究とライブラリーの情報資源

第一節 福田なをみと「外国研究」のライブラリー

1.	福田なをみの生涯	341
2.	外国に関する情報資源整備	341
3.	外国研究の二面性とライブラリーの情報資源	342

第二節 研究と情報資源

1.	研究の位相における資料群と言語	343
2.	研究図書館における図書館資料とアーカイブズ資料	346

第三節 今後の研究課題

1. 外国研究と対外政策の関係 348
2. 資料の情報媒体の問題 349
3. アメリカにおける学術資料基盤形成政策の解明 350

図表一覧

<図>

【図 1 研究のプロセス】	4
【図 2 アメリカにおける日本研究発達の分析枠組み】	17
【図 3 福田牧師一家】	33
【図 4 ロバート・ライシャワー】	38
【図 5 留学当初福田が住んだミシガン大学の寮 Betsy Barbour Residence】	44
【図 6 ロックフェラー財団奨学金申請書類、1939 年】	49
【図 7 福田から坂西宛書簡 [1941 年] 5 月 5 日】	60
【図 8 国立国会図書館所蔵アメリカ関係出版物 1930 年から 1945 年刊行分】	81
【図 9 『外国研究書総目録 明治・大正・昭和前期』掲載のアメリカ関係出版物】	82
【図 10 終戦後福田が住んだ洋風アパート「和朗フラット」の現存する一部】	120
【図 11 ポータル・ライブラリー】	127
【図 12 <i>Far East Duty</i> , Prepared and Produced in Tokyo by Troop Information and Education Section, GHQ, FEC, APO 500, January 1949】	132
【図 13 CIE 情報部ウィードの国立国会図書館訪問に随行】	153
【図 14 ダウンズと握手する金森館長、右隣 中井副館長。ダウンズの左横に福田なをみ】	159
【図 15 建設中の国際文化会館の建物で、1954-55 年冬】	184
【図 16 国際文化会館図書室、1950 年代後半か】	189
【図 17 ミシガン大学日本同窓会ディナー】	189
【図 18 東京地区の団員】	200
【図 19 アメリカ図書館研究調査団行程】	202
【図 20 図書館サービスの構造】	210
【図 21 ダウンズ夫妻の NDL 訪問に同行】	214
【図 22 所蔵 Booka on Japan 分野別グラフ 1955 年～1970 年】	220
【図 23 福田なをみ 1966 年 5 月】	226
【図 24 ミシガン大学アジア図書館スタッフ 1976 年 6 月】	296
【図 25 ミシガン大学図書館アジア図書館マイクロフィルム室】	303
【図 26 1986 年 4 月 26 日、福田宅でミシガン大学の学生たちと】	317
【図 27 1978 年度ミシガン大学図書館日本語資料購入資金別割合】	321

【図 28 日本研究の各プロセスで使用される言語（英語圏の場合）】	344
【図 29 日本研究の資料構造からみた国際文化会館図書室蔵書とミシガン大学アジア 図書館の蔵書】	345
【図 30 日本研究図書館の資料構造（英語圏の場合）】	347

<表>

【表 1 東京帝国大学図書館蔵書数 1936～1945 年】	55
【表 2 1935 年度主題別蔵書構成】	56
【表 3 LC 東洋部における日本語及び中国語資料増加数（1929 年度-1940 年度）】	64
【表 4 LC における日本語図書整理総数（昭和 14 年 1 月 31 日一同 16 年 5 月 16 日）】	65
【表 5 立教大学アメリカ研究所会計（1940 年度～1946 年度）】	71
【表 6 帝国図書館蔵書数 1936 年度および 1940 年度】	77
【表 7 1936（昭和 11）年度帝国図書館年報乙号表 図書表】	77
【表 8 帝国図書館における日米間の国際図書交換事業】	79
【表 9 外国雑誌購入調査（注：昭和 13 年頃）】	83
【表 10 アメリカにおける極東コレクションの成長 1869 年～1957 年】	266
【表 11 日本に関する博士論文提出・受領 1939 年まで（国別）】	268
【表 12 アメリカの図書館の蔵書数 1964 年～1968 年】	271
【表 13 <i>Far Eastern Bibliography</i> 掲載の中国・日本関係欧文文献数（出版年 1941-1955）】	272
【表 14 アメリカにおける日本語コレクション（1970 年）】	296
【表 15 ミシガン大学アジア図書館収集日本語資料数 1970-1978】	299
【表 16 ミシガン大学日本語図書購入資金 1969-1978】	308
【表 17 ミシガン大学に提出・受領された博士論文の分野と数 1970 年～1978 年】	313

<別表>

【別表 1 外務省購読外国新聞雑誌 1939（昭和 14）年～1941（昭和 16）年】	104
【別表 2 <i>Army Talk/Armed Forces Talk</i> 特集および参照関係】	169
【別表 3 日本占領軍政計画に基本的な日本語出版物ガイド】	173
【別表 4 <i>Japan Bibliography</i> 見出しと掲載資料点数】	176
【別表 5 IHJ Library News と List of Current Acquisitions (1954-1969)】	232
【別表 6 アメリカ図書館研究調査団 日程と討議内容】	239
【別表 7 来日図書館人リスト】	242
【別表 8 国際文化会館図書室サービス統計 1955 年度～1968 年度】	245
【別表 9 随時にまとめられた情報資源】	247
【別表 10 <i>Notes on Far Eastern Studies in America</i> 目次】	323

【別表 11 ミシガン大学における戦時中の陸軍関係日本語プログラム】	330
【別表 12 <i>Bulletin of Far Eastern Bibliography</i> 掲載の文献数 (欧文・日本と中国)】	333
【別表 13 日本語図書館の分類法 (1962 年調査)】	334
【別表 14 日本に関する博士論文提出・受領 1940 年～1969 年 (国別)】	335
【別表 15 ミシガン大学アジア図書館収集主要日本語資料 1970-1978】	336
【別表 16 アメリカの大学に提出された日本に関する博士論文数 1969 年～1979 年】	340

略号リスト	351
-------	-----

複数章出現の人物注リスト	353
--------------	-----

福田なをみ年譜	362
---------	-----

編著作物リスト	365
---------	-----

参考資料・文献

凡例	368
一次資料	368
書籍・記事・逐次刊行物	
日本語	374
英語	390
ウェブ上に公刊された資料	400
インタビュー	406

謝辞	407
----	-----

学位授与より 5 年以内に出版予定である。

いまだ出版契約に至らないものの、近い将来において刊行を検討しており、今後契約の内容を検討するにあたって代々減の可能性を考慮して、一定期間の間、全文を非公開とする。

参考資料・文献

凡例

➤ 一次資料

所蔵機関ごとにまとめ、日米に分けて機関名の五十音順とアルファベット順に配列した。機関名の下では資料群別に、ボックス番号またはフォルダ名まで記した。再整理により資料群名やフォルダ名が変更されることがあるため現地での調査日を明記した。

➤ 書籍・記事・逐次刊行物

日本語と英語に分けて編著者（無記名の記事はタイトル）の五十音順とアルファベット順に配列した。同著者の著作は刊行年順に排した。多数の記事に渡って参考にした逐次刊行物は号または出版年を記した。

英文刊行物の標準的な表記に従い、記事名は“ ”で囲み、書名・誌名に当る部分は斜字体で記した。

➤ ウェブ上に公刊された資料

ウェブサイトの発信機関の所在により日米に分けて機関名の五十音順とアルファベット順に記載した。デジタル資料の集積機関であるアジア歴史資料センターおよび HathiTrust については、個々の資料の URL ではなく目録情報の URL を記した。国会会議録のような安定的なサイト以外は個々に最終確認日を記した。また、依頼によりデジタル・ファイルを受け取った場合は受取日（日本時間）を記した。

➤ インタビュー

聞き取りを行った人の名前を五十音順およびアルファベット順に配列し、調査日および場所を記した。書面については受取の日にちを記した。

一次資料

<在日機関>

国立国会図書館（2012年12月25日- 調査）

国立国会図書館人事記録（問い合わせに対する回答 2017年5月2日）

憲政資料室 開架資料

- *GHQ directory. Jockey telephone exchange 18 January 1946.*
- *Telephone directory. Tokyo - Yokohama area February 1946.*
- *Tokyo telephone directory, 25 April 1946; 16 May 1946; 6 June 1946; 4 July 1946; [Classified] & Alphabetical listing, September 1946; [Classified &] Alphabetical listing November 1946; [Classified &] Alphabetical listing, December 1946; [Classified &]*

Alphabetical listing February 1947.

- *Telephone directory. Yokohama area* Mar. 1947.
- *Greater Tokyo area occupation forces telephone directory*. [Classified listing] March & April 1947; Officers and civilian alphabetical listing March & April 1947;
- *Greater Tokyo area occupation forces telephone directory*. [Classified listing] May and June 1947; Officers and civilian alphabetical listing May and June 1947.
- *Greater Tokyo area occupation forces telephone directory* July and August 1947; [Greater Tokyo area occupation forces telephone directory] October - December 1947.
- *Tokyo and vicinity telephone directory* Effective 1 April 1948; Effective 1 July 1948; Effective 1 October 1948; Effective 1 April 1949; Effective 1 July 1949; Effective 1 January 1950.
- *Tokyo and vicinity telephone directory*. [Classified &] alphabetical listing Effective 1 April 1950; Effective 1 July 1950; [Classified &] alphabetical listing Effective 1 October 1950; Effective 1 January 1951; [Classified &] Tokyo alphabetical listing Effective 1 April 1951; [Classified and] alphabetical listing Effective 1 October 1951.

憲政資料室 日本占領関係資料マイクロ資料

- CAH-1 "Civil Affairs Handbook, Japan".
- CIE "GHQ/SCAP Records, Civil Information and Education Section". CIE(A)2911-2912, CIE(A)2925, CIE(B)3812-3816, CIE(D)204, CIE(D)212.
- ISG-1 "The Intelligence Series G2, USAFFE-SWPA-AFPAC-FEC-SCAP (History of Intelligence Activities under General MacArthur, 1942-1950)". General Orders No. 13. Operations of the Civil Intelligence Section, GHQ, FEC & SCAP, Volume IX, Intelligence Series (I), Military Intelligence Section, General Staff, 1949.
- JTC-1 "Joseph C. Trainor Collection". Reel 19, 29, 33. 51-53, 58, 65
- JWP "Justin Williams Papers". JW-23-03, JW-23-07, JW-23-20.
- OJP-1 "The Occupation of Japan, Part 1: U.S. Planning Documents, 1942-1945". 3A1-61, 89-90, 122, 126. B2-11 (1, 8 missing), 13-29 (25 missing). 3C1-2, 8, 15, 18, 21, 26-28, 33, 36, 39.
- USB-10 "Records of the U.S. Strategic Bombing Survey, Entry 46: Intelligence Library, 1932-1947".
- YE 24 "O.S.S./State Department Intelligence and Research Reports". Part 1 Reel 1-7.

外務省

- 「外務省個人履歴」退職辞令 1945年10月11日（2007年12月26日電話による回答、外務省人事記録班確認）。

国際交流基金図書館

- 「KBS 職員名簿 昭和 18 年 2 月現在」
- 在紐育日本文化会館「昭和 15 年度事務報告書」

国際文化会館 (2010 年 4 月 26 日-6 月 9 日調査)

- 理事・評議員会記録文書 1952-1970 年度
- 職員録

女子学院同窓会 (同窓会より回答、2010 年 5 月 25 日、2012 年 11 月 19 日)

- 女子学院同窓会『昭和元年度同窓誌』昭和 2 年 1 月発行
- 女子学院同窓会『昭和 7 年度同窓誌』昭和 8 年

東京大学

文書館 (2018 年 4 月 23 日調査)

- 「職員進退録 昭和 15 年 庶務課」
- 「職員進退録 昭和 17 年 庶務課」

太平洋アメリカ研究センター (CPAS) 図書館 高木八尺文庫 (2011 年 1 月 27 日、9 月 20 日、10 月 5 日調査)

- フォルダ 543 International House, Inc. 1952 IX ; 544 財団へ申請文書写 (四建築家と協議) ; 548 アメリカ図研究視察団; 549 Library Committee.

東洋英和女学院史料室 (2012 年 6 月 25 日、11 月 2 日、2018 年 5 月 1 日調査)

- 「大正四年度入学願書」
- 「List of Graduates and New Pupils」
- 「学籍簿 自大正 11 年 至昭和 10 年」
- 「成績表 明治 32~大正 6」

<在米機関>

Library of Congress (2010 年 3 月 18-19 日、2018 年 3 月 22、26-28 日調査)

Manuscript Division

- Verner W. Clapp Papers、Boxes 6, 11, 30, 33, 36, 50, 51 (2009 年 12 月コピー受取)
- American Council of Learned Societies papers I, Folders: Reischauer, Robert; Reischauer, Jean

Asian Reading Room

- [Beikoku Gikai Toshokan Sakanishi shiryō]

National Archives and Records Administration

- National Archives RG 226, Entry 37, Box 2. Preston James, “American Universities and Field Intelligence”, August 29, 1945, and William Langer to Sherman Kent, “Committee on Relations between Government Intelligence and Research Work and the American Universities,” August 31, 1945. (2018 年 6 月 16 日 PDF で受取)

- National Archives RG 331, Entry (UD)1787 Records of the Supreme Commander for the Allied Powers. Economic and Scientific Section. Programs and Statistics Division. General Subject File, 1945 - 1952, Box 8360, Folder 6 "Civil Affairs Information Guide: Japan Bibliography (No. 31-1A)" pp.16-17 and 22-23. (2019年8月22日PDFで受取)

Rockefeller Archive Center, Sleepy Hollow, New York (2010年11月1-5日調査。それ以外は明記。)

Rockefeller Foundation records

- RG 1.1 Projects. Series 200: United States. Subseries 200.R: United States - Humanities and Arts, 1922-1972. Box 197, Folder 2365 American Council of Learned Societies - Modern Languages, 1941-1949. Graves, Mortimer, "Letter from Mortimer Graves to David H. Stevens, 1941 May 27," 100 Years: The Rockefeller Foundation. https://rockfound.rockarch.org/digital-library-listing/-/asset_publisher/yYxpQfeI4W8N/content/letter-from-mortimer-graves-to-david-h-stevens-1941-may-27 (2018年8月8日確認)
- RG 1.1 Projects. Series 200. Subseries 200.R. Box 240 Folder 2862 Library of Congress - Far Eastern Studies, 1931-1934.
- RG 1.1 Projects. Series 200. Subseries 200.R. Box 240 Folder 2863 Library of Congress - Far Eastern Studies, 1935.
- RG 1.1 Projects. Series 200. Subseries 200.R. Box 268 Folder 3205 Princeton University - Far Eastern Studies, 1936-1937. (2018年8月17日PDFで受取)
- RG 1.1 Projects. Series 200. Subseries 200.R. Box 269 Folder 3206 Princeton University - Far Eastern Studies, 1938-1945. (2018年8月17日PDFで受取)
- RG 1.1 Projects. Series 200. Subseries 200.R. Box 277 Folder 3306 Reischauer, Robert K. (Far Eastern Studies), 1935-1937.
- RG 1.2 Projects. Series 200: United States. Subseries 200.R: United States - Humanities and Arts. Box 271 Folder 2599 American Library Association - Japanese Librarians Training, 1958-1960, 1962.
- RG 1.2 Projects. Series 200. Series 200R. Box 271 Folder 2601 American Library Association - Overseas Library Development; 1957-1958.
- RG 2 General Correspondence. Subgroup: 1954. Series 1954/609: Japan, 1954. Box 45 Folder 307 Japan (Ag-I),
- RG 10.1 Fellowships, fellowship files. Series 609: Japan. 609.E: Fellowships, scholarships, training awards. Box 32 Folder Naomi Fukuda, 1939-1940.
- RG 12 Officers' diaries. Charles Burton Fahs. <http://dimes.rockarch.org/xtf/view?docId=ead/FA392/FA392.xml;chunk.id=b707f5>

838c464fada751ac22f353966b;brand=default&doc.view=contents (2017年7月1日
確認)

Rockefeller Family Archives

- RG 2 Office of the Messrs. Rockefeller. Series D: Civic Interests. Box 47 Folder 374 Dulles Mission - John D. Rockefeller 3rd Report - Correspondence with Mr. Dulles 1950-1951.
- RG 5 Series 1: Office of Messrs. Rockefeller Files. Box 51 Folder 461 Asian Interests - Japan - International House of Japan - 1951.
- RG 5 Series 1: Office of Messrs. Rockefeller Files. Box 90 Folder 765 Trips - Japan (Oct. - Nov. 1951).

Charles Burton Fahs papers

- Series 1: Personal Papers. Box 1. Folder 1: Biography - 'A Conversation with Charles Burton Fahs' and Chronology. Date: 1984. (2017年12月1日 PDF で受取)

University of California, Berkeley (2018年7月18日画像受取)

Library records

- Call Number CU-12, Box 97, University of California, Berkeley Library records, 1902-2014. A Survey of Japanese Books in the Social Sciences in the East Asiatic Library, University of California, Berkeley by Naomi Fukuda. Report on East Asiatic Library by Naomi Fukuda, August, 1964.

University of Hawaii, Manoa. Hamilton Library, Japan Collection (2016年10月28日音声データ受取)

- Naomi Fukuda in “Oral History of Japanese Studies Scholars 1960s-80s” (List: <https://guides.library.manoa.hawaii.edu/japan/oralhistory>)

University of Illinois Archives (2010年7月19-23日調査)

University of Illinois. Library

- 35/1/2 Library; Dean's Office; General Correspondence, 1895-1977. Boxes 19, 57-58, 66, 91, 135
- 35/1/22 Library; Dean's Office; Robert B. Downs Papers 1928-91. Boxes 4-6. 8-10
- 35/2/2 Library; Technical Services; Subject File, 1940-99. Box 5

American Library Association Archives

- 2/4/6 Executive Board and Executive Director; Executive Director; Executive Director; Subject File, 1910-12, 1915-1999. Boxes 22-23
- 2/4/46 Executive Board and Executive Director; Executive Director; Rockefeller Foundation Grants, 1923-1950. Boxes 1-2
- 2/4/60 Executive Board and Executive Director; Executive Director; Executive Director;

World War II National Defense Subject File, 1941-1946. Box 3

- 7/1/6 International Relations Office; First (Old) Office; Subject File, 1897, 1922-1933, 1936-1952. Boxes 1, 15, 18
- 7/1/53 International Relations Office; First (Old) Office; African and Asian Projects File, 1935-60, 1968. Box 1
- 7/2/6 International Relations Office; New Office; Subject File, 1954-1995. Boxes 1, 4, 11, 15, 20-22, 29-31
- 7/2/56 International Relations Office; New Office (1956-); Correspondence, By Country, 1935-59. Box 4
- 70/93/1 International Relations Committee; Ad Hoc Committees; Japan-U.S. Conference on Library Proceedings, 1969-74. Boxes 1-3
- 70/93/6 International Relations Committee; Ad Hoc Committees; Japanese Library Publication, 1958-67. Box 1
- 89/2/6 War Service Committee; World War II; Subject File, 1941-46. Boxes 1-2

University of Maryland (2010年3月29-30日調査)

University of Maryland Libraries

- Records of the East Asia Collection
- Records of East Asian Collection – Correspondence – Through 1970

University of Michigan (2010年7月26-30日、2016年11月14-19日、2018年6月18-29日調査)

Asia Library

- Call Number ILSL-Z-695.1-.J34-F85 v.1 & v.2: Naomi Fukuda, "Some Problems in Cataloging Japanese Books for American Libraries Part I, Part II"

Bentley Historical Library

- Alumni Association University of Michigan records 1859-1998, Alumni Club, Box 81
- Association for Asian Studies record, Boxes 1, 8, 10, 13, 16, 28, 30, 44-45, 48
- Barbour Scholarships for Oriental Women record, Box 1
- Louis William Doll papers. Boxes 1, 6-8, Oversize
- University of Michigan. Alumni record, Naomi Fukuda
- University of Michigan. Center for Japanese Studies, Boxes 1-3, 5, 7-11, 13
- University of Michigan. Center for Japanese Studies, publication Box 1
- University of Michigan. College of Literature, Science, and the Arts - Announcements, Bulletin Boxes 2-3
- University of Michigan. College of Literature, Science, and the Arts - Publication
- University of Michigan. Institute of Far Eastern Studies

- University of Michigan. Library records 1837 - 2013, 1920 - 2000, Boxes 4-5, 7, 12-14, 17-20, 25-30, 32-33, 37, 41-42, 44, 47-48, 50- 56, 58, 60-61, 65-68, 72, 82, 98, 202, 103, 111-113, 122-126, 134-138, 141, 145, 148, 162, 187, 192, 194, 220.
- University of Michigan. Library Publication, Box 2
- University of Michigan. Master thesis
- University of Michigan. Michigan Alumnus
- University of Michigan. Presidents Annual Report
- University of Michigan records 1941-1945. University of Michigan War Historian. Box 1, Reports and Activities. (2018年11月15日PDFで受取)

University of Minnesota

Archives and Special Collections

- Harold Scott Quigley papers (2017年5月19日PDFで受取)

Yale University Archives (2018年5月24日PDFで受取)

Yale University records

- Call Number RU 1072, East Asia Library; Box 3; Folder 68: Fukuda, Naomi, 1968-1994

書籍・記事・逐次刊行物

<日本語>

- 青木富喜子『GHQと戦った女 沢田美喜』新潮社、2015年。
- ジョージ・アキタ「アメリカの日本研究の第一世代」『世界の日本研究』第3号、1991年、9-52頁。
- 朝日新聞社編『現代人物事典』朝日新聞社、1977年。
- 安達将孝「明治20年代刊行の印刷辞書体目録について—『東京図書館工芸書目録』及『海軍図書目録 英書之部』に関する研究—」『図書館史毛乳』第1号、1984年、53-74頁。
- 安達将孝「海軍文庫沿革概要」『軍事史学』第30巻第2号、1994年9月、52-60頁。
- 天川晃「1970年前後の占領史研究とその周辺」『参考書誌研究』第77号、2016年3月、56-78頁。
- アメリカ学会高木八尺先生記念図書編纂委員会編『アメリカ精神を求めて：高木八尺の生涯』東京大学出版会、1985年。
- アメリカ図書館研究調査団編『アメリカの図書館』アメリカ図書館研究調査団〔国際文化会館内〕、1960年。
- 荒敬『日本占領史研究序説』柏書房、1994年。
- 有馬哲夫『昭和史を動かしたアメリカ情報機関』平凡社、2009年。
- 安藤金治「アメリカ文化センターに関する謬見」『図書館雑誌』47巻10号、1953年

- 10月、2-5頁。
- 井伊玄太郎「アメリカ研究の貧困」『文芸春秋』19巻11号、1941年11月、66-76頁。
 - 飯森明子『戦争を乗り越えた日米交流—日米協会の役割と日米関係1917～1960』彩流社、2017年。
 - 五百旗頭真『米国の日本占領政策—戦後日本の設計図』、中央公論社、1993年（初版1985年）。
 - 五百旗頭真編『日米関係史』有斐閣、2008年。
 - 五十嵐武士「戦後日米文化交流計画の胎動」井門富二夫編『占領と日本宗教』未来社、1993年。
 - 石田幹之助「KBS ライブラリー創設の頃」『国際文化』218号、1972年8月、8-12頁。
 - 石田寛編『外国人による日本地域研究の軌跡』古今書院、1985年。
 - 石本音彦・小牧喬定編『福田紀子』石本音彦・小牧喬定、1916年。
 - 石山洋・稲村徹元・大久保久雄・宮地幹夫・堀込静香編『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成 人文科学編』皓星社、第8巻（外国研究1）、1995年；第37巻（西洋史1）、1997年。
 - 市原麻衣子「アジア財団を通じた日米特殊関係の形成？—日本の現代中国研究に対するCIAのソフトパワー行使—」『名古屋大学法政論集』260号、2015年、299-318頁。
 - 稲村徹元「ロバート・B・ダウズ氏の図書館観——一九四八年八月、東京における小講話の紹介——（国立国会図書館創設期資料・拾遺）」、天野敬太郎先生古希記念会編『図書館学とその周辺：天野敬太郎先生古希記念論文集』巖南堂書店、1971年。
 - 猪瀬直樹『昭和16年夏の敗戦』中央公論新社、2010年（単行本の初版は世界文化社、1983年）。
 - 岩猿敏生「小田泰正先生と図書館研究」、『小田泰正先生追悼論文集』編集委員会編『情報技術と図書館—小田泰正先生追悼論文集』『小田泰正先生追悼論文集』刊行会、1995年。
 - 上品和馬『広報外交の先駆者・鶴見祐輔：1885-1973』藤原書店、2011年。
 - 内村鑑三『内村鑑三全集』21-22巻、岩波書店、1982年。
 - 臼井祥子「米国における日本研究」『日本研究：国際日本文化センター紀要』10、1994年、193-309頁。
 - 臼井勝美・高村直助・鳥海靖・由井正臣編『日本近現代人名辞典』吉川弘文館、2001年。
 - 臼杵陽「戦時下回教研究の遺産—戦後日本のイスラーム地域研究のプロトタイプとして—」『思想』941、2002年9月、191-204頁。
 - 宇都宮直賢『アメリカ“S”派遣隊』芙蓉書房、1983年。
 - 裏田武夫・小川剛編『図書館法成立史資料』日本図書館協会、1968年。

- 『英語教育雑誌目次総覧』大空社、1992年。
- 江利川春雄『英語と日本軍：知られざる外国語教育史』NHK出版、2016年。
- 老川慶喜・前田一男 編著『ミッション・スクールと戦争—立教学院のディレンマ』東信堂、2008年。
- 大内直之「満鉄資料の接收」『現代の図書館』24巻2号、1986年、92-93頁。
- 大佐三四五「我国図書館事業の革新を指導せる米国図書館人の足跡」『土』金光図書館、20号～22号、1952年、9-12頁；10-15頁；13-15頁。
- 大濱徹也著・女子学院史編纂委員会編『女子学院の歴史』学校法人女子学院、1985年。
- 大伏春美・大伏節子「土岐善麿と日比谷図書館」『徳島文理大学研究紀要』78、2009年9月、201-212頁。
- 岡田温「旧上野図書館の集書方針とその蔵書」『図書館研究シリーズ』No.5、国立国会図書館、1961年、199-212頁。
- 岡村敬二『遺された蔵書—満鉄図書館・海外日本図書館の歴史』阿吽社、1994年。
- 小川忠『戦後米国の沖縄文化戦略：琉球大学とミシガン・ミッション』岩波書店、2012年。
- 小川千代子・高橋実・大西愛 編『アーカイブ事典』大阪大学出版会、2003年。
- 奥泉栄三郎・古川純「日本占領期の極東米軍情報収集活動と組織」『東京経学会誌』第109・110合併号1978年12月、115-143頁。
- 奥泉和久「森博、図書館実践とその思想」、小笠徹・奥泉和久・小黑浩司共著『人物で辿る日本の図書館の歴史』青弓社、2016年。
- 小田泰正編『レファレンス・ワーク』日本図書館協会、1966年。
- 小田泰正「目録の機能と目録規則」『学校図書館』No.251、1971年9月、9-13頁。
- 小田泰正「森君と『日本の参考図書』」『図書館雑誌』Vol.65 No.11、1971年11月、589-591頁。
- 落合恵美子「日本研究をグローバルな視野に埋め直す：『日本』と『アジア』の再定義」『日本研究』55号、2017年5月、85-103頁。
- オーラルヒストリー研究会編『「中小都市における公共図書館の運営」の成立とその時代』日本図書館協会、1998年。
- 外務省百年史編纂委員会『外務省の百年』原書房、1969年。
- 外務省外交史料館日本外交史辞典編纂委員会『新版 日本外交史辞典』山川出版社、1992年。
- 『外務省報』290号:1934年1月1日; 291号: 1934年1月15日; 457号: 1940年12月15日; 502号: 1942年11月1日; 525号: 1943年10月15日; 526: 1943年11月1日; 527号: 1943年11月1日。
- 嘉治元郎「外国研究の国際比較について」『教養学科紀要』東京大学教養学部教養学科、

6、1973年、1-4頁。

- 加藤哲郎『象徴天皇の起源：アメリカの心理戦「日本計画」』平凡社、2005年。
- 加藤哲郎『情報戦と現代史：日本国憲法へのもうひとつの道』花伝社、2007年。
- 加藤幹雄編『国際文化会館50年の歩み』増補改訂版、国際文化会館、2003年。
- 加藤祐三『幕末外交と開国』講談社学術文庫、2012年（原本：筑摩書房、2004年）。
- 金井圓「米国における最近の日本史研究」『知識』22、1981年4月、146-154頁。
- 金子量重・浜田敏郎「アメリカ占領軍の図書館」『びぶろす』Vol.33 No.3、1982年3月、7-28頁。
- 金子英生「米国における日本図書館の現状」『びぶろす』Vol.23 No.4、1972年4月、1-10頁。
- 加野芳正「アメリカにおける日本研究の発達構造」、新堀通也編著『学問の社会学』有信堂、1984年。
- 亀井俊介編・解説『日本人のアメリカ論』研究社、1977年。
- 加茂雄三「II 地域研究 7 米州」『国際政治』日本国際政治学会編、61・62、1979年5月、198-211頁。
- 河合博「米国図書館界雑感」(一)『図書館雑誌』第34年第6号、1940年6月、153-159頁。(二)第34年第7号、1940年7月、236-242頁。
- 川崎賢子「映画『支那の夜』に対する検閲の多元性—米国公文書館所蔵IWG文書を参照して」『インテリジェンス』Vol.17、2017年、124-134頁。
- 河路由佳『日本語教育と戦争：「国際文化事業」の理想と変容』新曜社、2011年。
- 河路由佳「長沼直兄の戦前・戦中・戦後—激動の時代を貫いた言語教育者としての信念を考える—」『日本語教育研究』58、2012年10月、1-24頁。
- 川西進・瀧田佳子訳、佐伯彰一解説『アメリカ人の日本論』研究社、1975年。
- 『官報』第2711号、大正10年8月13日。
- 橋井清五郎「洋式図書館の嚆矢」『図書館雑誌』第63号、1934年11月1日、6-9頁。
- 鬼頭梓+鬼頭梓の本をつくる会編『建築家の自由 鬼頭梓と図書館建築』企業組合建築ジャーナル、2008年。
- 木村毅『日米文学交流史の研究』恒文社、1982年。
- ドナルド・キーン著・金関寿夫訳『このひとすじにつながりて』朝日新聞社、1993年。
- 倉本一宏「<鼎談>『日文研問題』をめぐって」『日本研究』55号、2017年5月、171-207頁。
- 黒川創『鶴見俊輔伝』新潮社、2018年。
- 黒木努『政府刊行物概説』帝国地方行政学会、1972年。
- 桑原信「K・B・S 閲覧室の沿革と内容」国立国会図書館図書館協力部編『びぶろす』、2巻10号、1951年10月、11-12頁。

- 桑原信「KBS ライブラリーと外人研究者」『国際文化』60号、1959年5月、6-7頁。
- 慶應義塾大学三田情報センター編『慶應義塾図書館史』慶應義塾大学三田情報センター、1972年。
- シャーマン・ケント『米国の世界政策のための戦.0.略情報』法務府特別審査局、1952年。法務府特別審査局調査資料（昭和27年6月15日号）、部内限定資料。
- シャーマン・ケント著・並木均 監訳・熊谷直樹 訳『戦略的インテリジェンス論』原書房、2015年。
- セオドア・コーエン；大前正臣訳『日本占領革命：GHQからの証言』TBSブリタニカ、1983年。
- 小出いずみ「福田直美とアメリカ図書館研究調査団」、今まど子・高山正也編著『現代日本の図書館構想：戦後改革とその展開』勉誠出版、2013年。
- 国際交流基金編『米国における日本研究』国際交流基金、1977年。(Massey & Massey *CULCON Report on Japanese Studies at Colleges and Universities in the United States in the Mid-70s (1977)*の翻訳)。
- 国立国会図書館『国立国会図書館年報』昭和23年度～28年度 1949年～1954年。
- 国立国会図書館『国立国会図書館月報』1号～33号、1961年4月～1963年12月。
- 国立国会図書館一般参考部『昭和32年3月16日 レファレンス・ワーク連絡協議会議事録』国立国会図書館一般参考部、1957年。
- 国立国会図書館『国立国会図書館の30年』国立国会図書館、1978年。
- 国立国会図書館編『国立国会図書館三十年史』国立国会図書館、1979年。
- 国立国会図書館編『国立国会図書館三十年史 資料編』国立国会図書館、1980年。
- 国立国会図書館支部上野図書館編『帝国図書館年報』国立国会図書館、1974年。
- 国立大学図書館協議会「国立大学図書館協議会の歩み」、国立大学図書館協議会『国立大学図書館協議会第50回総会記念誌：資料集』国立大学図書館協議会50周年記念事業実行委員会、2003年。
- 小谷賢『日本軍のインテリジェンス—なぜ情報が活かされないのか』講談社、2007年。
- 木寺清一・埴岡信夫編『レファレンス手引：参考係員のための実務便覧』日本図書館協会、1954年。
- 小林正「国立国会図書館法制定史稿—国会図書館法の制定から国立国会図書館法の制定まで—」『レファレンス』1999年1月号、12-51頁。
- 小山騰『ケンブリッジ大学図書館と近代日本研究の歩み：国学から日本学へ』勉誠出版、2017年。
- 今まど子「日本占領と図書館」『中央大学文学部紀要』147、1992年4月、1-14頁。
- 今まど子「アメリカの情報交流と図書館—CIE 図書館との係わりにおいて—」『中央大学文学部紀要』156、1994年6月、29-42頁。

- 今まど子「CIE インフォメーション・センターの図書館サービスについて—九州編—」『図書館学会年報』Vol.41 No.2、1995年6月、67-80頁。
- 今まど子「CIE インフォメーション・センターの図書館サービスについて：デポジット編」『図書館学会年報』Vol.42 No.1、1996年3月、15-31頁。
- 今まど子「SCAP/CIE インフォメーション・センター：金沢」『中央大学文学部紀要』188、2001年5月、1-25頁。
- 今まど子「CIE インフォメーション・センターの図書館サービスについて：ライブラリアン編」、吉田政幸・山本順一編『図書館情報学の創造的再構築』勉誠出版、2001年。
- 今まど子「TLA（東京都図書館協会）の55年 パート1 小史」、今まど子編『TLA（東京都図書館協会）の55年』東京都図書館協会、2006年。
- 今まど子「CIE インフォメーション・センターの活動」、今まど子・高山正也編著『現代日本の図書館構想—戦後改革とその展開』勉誠出版、2013年。
- 今まど子「日本の新しい図書館学校」、今まど子・高山正也編著『現代日本の図書館構想—戦後改革とその展開』勉誠出版、2013年。
- 財団法人言語文化研究所『長沼直兄と日本語教育』開拓社、1981年。
- 財団法人国際文化会館『国際文化会館の歩み 第一回年次報告に代えて』財団法人国際文化会館、1956年。
- 財団法人国際文化会館『国際文化会館の歩み』2（1956年4月-1957年3月）～5（1959年4月-1960年3月）、7（1961年4月-1962年3月）～16（1970年4月-1971年3月）、財団法人国際文化会館、1957年～1960年、1961年～1971年。
- 財団法人国際文化会館『国際文化会館10年の歩み』財団法人国際文化会館、1963年。
- 財団法人国際文化振興会『事業報告書』1950年度～1970年度。
- 財団法人国際文化振興会『財団法人国際文化振興会昭和十年度事業報告書』青木節一、1937年。
- 財団法人国際文化振興会『KBS30年のあゆみ』財団法人国際文化振興会、1964年。
- 斎藤毅「日本における出版物国際交換事業の歴史」『図書館研究シリーズ』No.5、国立国会図書館、1961年、165-198頁。
- 斎藤真「草創期アメリカ研究の目的意識—新渡戸稲造と『米国研究』—」、細谷千博・斎藤真編『ワシントン体制と日米関係』東京大学出版会、1978年。
- 斎藤真「日本におけるアメリカ研究—その歴史と今後の課題」、斎藤真、古矢旬・久保文明監修『アメリカを探る—自然と作為』みすず書房、2017年。
- 酒井悌・鈴木幸久「ヴァーナー・W・クラブと国立国会図書館」『図書館研究シリーズ』20号、国立国会図書館、1978年11月、1-46頁。
- 坂口貴弘『アーカイブズと文書管理—米国型文書管理システムの形成と日本』勉誠出

版、2016年。

- 坂口満宏「国際協調型平和運動—『大日本平和協会』の活動とその史的位罫—」『キリスト教社会問題研究』33号、1985年3月、115-142頁。
- 阪田蓉子編『情報サービス論』補訂版、教育史料出版会、2003年。
- 坂西志保「アメリカの対敵思想戦」『太平洋』第6巻第2号、1943年2月、74-81頁。
- 『坂西志保さん』編集世話人会編『坂西志保さん』国際文化会館、1977年。
- 相良廣明「洋書輸入協会史(4)」『洋書輸入協会会報』第19巻第2号、1985年12月、2-4頁。
- 佐藤能丸「大日本文明協会史試論」『早稲田大学史紀要』第21巻、1989年3月、177-212頁。
- 里見淳・吉野源三郎「対談 原田日記が世に出るまで」『世界』117号、1955年9月、197-210頁。
- 参議院調査部『国会図書館に関する調査資料』第一輯、1947年5月。
- 志智嘉九郎『レファレンス：公共図書館における実際』文部省社会教育局、1954年。
- 芝崎厚士『近代日本と国際文化交流：国際文化振興会の創設と展開』有信堂、1999年。
- 女子学院同窓会『昭和元年度同窓誌』女子学院同窓会、1927年。
- 女子学院同窓会『昭和7年度同窓誌』女子学院同窓会、1932年。
- 新堀通也監修『知日家人名辞典』有信堂高文社、1984年。
- 新堀通也編『知日家の誕生』東信堂、1986年。
- 末廣昭・責任編集『岩波講座「帝国」日本の学知 第6巻 地域研究としてのアジア』岩波書店、2006年。
- 末廣昭「日本における地域研究・私のタイ研究」『學士會会報』No.886、2011年1月、66-70頁。
- 菅原勲「『日本の参考図書』誕生への軌跡」岩淵泰郎教授古希記念論集刊行委員会編『白山図書館学研究：岩淵泰郎教授古希記念論集』緑陰書房、2002年。
- 鈴木平八郎「評伝・福田なをみ」、『ツバキと馬と』鈴木平八郎、1988年。
- 鈴木平八郎「『参考書誌研究』創刊のころ」『参考書誌研究』31号、1986年3月、1-7頁。
- 鈴木平八郎「弔辞」、『小田泰正先生追悼論文集』編集委員会編『情報技術と図書館：小田泰正先生追悼論文集』『小田泰正先生追悼論文集』刊行会、1995年。
- 鈴木雄一郎「立教学院の交友組織と寄附行為」『立教学院史研究』15、2018年、93-114頁。
- 鈴木幸久「日本図書館界の『苦勞人』」、『小田泰正先生追悼論文集』編集委員会編『情報技術と図書館：小田泰正先生追悼論文集』『小田泰正先生追悼論文集』刊行会、1995年。

- 『鈴木幸久先生喜寿記念論集』編集委員会編『鈴木幸久先生喜寿記念論集』『鈴木幸久先生喜寿記念論集』刊行会、2001年。
- 『青楓寮』東洋英和女学院青楓寮編集会発行、1982年。
- 『世界週報』第78巻5号、1997年2月18日、50-53頁。
- 関正昭『日本語教育史研究序説』スリーエーネットワーク、1997年。
- 仙田正雄「米国議院図書館東洋部職務記」『図書館研究』15巻1号、青年図書館員聯盟、1942年、53-73頁。
- 相馬黒光『黙移 相馬黒光自伝』平凡社、1999年。
- 『太平洋』第1巻第1号、1938年11月～第8巻第6号、1945年6月。
- 太平洋協会編『アメリカ国民性の研究』アメリカ研究叢書第1巻、太平洋協会出版部刊、1944年1月。
- 太平洋協会「八田理事 設立経過報告」、『太平洋協会発会式概要』太平洋協会、1938年、11頁。
- 高井戸教会百年史編纂委員会『高井戸教会百年史 第一巻』日本キリスト教団高井戸教会、1989年。
- 高木惣吉「高木八尺先生と海軍」『高木八尺著作集』月報3 第3巻、東京大学出版会、1971年1月、1-2頁。
- 高木大幹「今井信之と英語通信社」『英学史研究』第14号、1961年、73-86頁。
- 高木八尺『高木八尺著作集』第1～5巻、東京大学出版会、1971年。
- 高橋寛人編『占領期教育指導者講習（IFEL）基本資料集成』第1～31巻、すずさわ書店、1999年。
- 高山正也「図書館との出会いをつくってくれた人 福田なをみ女史を偲びつつ」『丸善ライブラリー・ニュース』復刊1号、2008年2月、14頁。
- 高山正也「浜田敏郎先生を偲んで」『図書館雑誌』Vol.111 No.5、2017年5月、309頁。
- 竹前栄治『占領戦後史：対日管理政策の全容』双柿舎、1980年。
- 竹前栄治「カナダと日本占領—A・R・メンジスとのインタビューに寄せて—」『カナダ研究年報』第6号、日本カナダ学会、1985年、124-135頁。
- 竹前栄治『日本占領—GHQ高官の証言』中央公論社、1988年。
- 竹前栄治・中村隆英監修『GHQ日本占領史6 公職追放』日本図書センター、1996年。
- 竹本英代「日語学校創設に果たした在日宣教師の役割」『キリスト教社会問題研究』53号、2004年12月、32-52頁。
- 竹本英代「関東大震災後の日語学校の再建—大正期における宣教師に対する日本語教育をめぐる—」『キリスト教社会問題研究』56号、2008年2月、243-265頁。
- 田中智子「戦時同志社史再考：運営体制の分析から」『キリスト教社会問題研究』62号、2013年12月、135-154頁。

- 谷口真弓「福田直美様を偲んで」2007年12月17日、未刊行追悼文。
- 田村光編『女子学院八十年史』女子学院、1951年。
- 千代由利「国立国会図書館の満鉄資料—LC所蔵満鉄資料の収集プロジェクトを終えて—」『びぶろす』Vol. 35 No.6、1984年6月、12-16頁。
- Warren M. Tsuneishi「図書館員の交流：その実績と予測」『日米大学図書館会議議事録』第1回、1970年、163-172頁。
- 角田柳作「米国に於ける日本研究—昭和13年度総会講演—」『図書館雑誌』第32年第9号、1938年9月、265-272頁。
- 鶴見俊輔・加藤典洋・黒川創『日米交換船』新潮社、2006年。
- 帝国図書館編『帝国図書館新聞雑誌目録 昭和10年末現在』帝国図書館、1937年。
- 出来成訓監修『英語総合雑誌目次総覧』大空社、1993年。
- 出来成訓監修『英米文学・英語学雑誌目次総覧』大空社、1994年。
- 照井悦幸「研究ノート 坂西志保について：1930年代の米国における日本研究—モーティマ・グレイヴス (Mortimer Graves) の書簡を通じて—」『盛岡大学比較文化研究所年報』第21号、2011年3月、63-76頁。
- 東京女子大学同窓会『同窓会誌』第4号、1929年。
- 東京女子大学五十年史編纂委員会『東京女子大学五十年史』東京女子大学、1968年。
- 東京女子大学80年誌編纂委員会編『東京女子大学の80年』東京女子大学、1998年。
- 東京女子大学同窓会『同窓会月報』第5巻第4号、1939年。第9巻第7号、1943年12月。
- 東京大学アメリカ研究資料センター編『清水博先生に聞く』東京大学アメリカ研究資料センター、1977年。
- 東京大学アメリカ研究資料センター編『鈴木圭介先生に聞く』東京大学アメリカ研究資料センター、1981年。
- 東京大学アメリカ研究資料センター編『陸井三郎先生に聞く』東京大学アメリカ研究資料センター、1992年。
- 東京大学百年史編集委員会『東京大学百年史』東京大学、部局史4 (1987年) ; 資料3 (1986年)。
- 『東京帝国大学 学術大観 総説・文学部』東京帝国大学、1942年。
- 『図書館雑誌』[特集] 大学図書館とマンガ、Vol.111, No.11、2017年11月、718-733頁。
- 図書館情報学ハンドブック編集委員会編『図書館情報学ハンドブック』第2版、丸善、1999年。
- 図書館用語辞典編集委員会『最新 図書館用語大辞典』柏書房、2004年。
- ジョセフ・S・ナイ、山岡洋一訳『ソフト・パワー：21世紀国際政治を制する見えざ

- る力』日本経済新聞社、2004年。
- 中生勝美「民族研究所の組織と活動：戦争中の日本民族学」『民族学研究』Vol. 62 No.1、1997年6月、47-65頁。
 - 中生勝美「地域研究と植民地人類学」『地域研究論集』Vol.2 No.1、1999年3月、19-36頁。
 - 中生勝美「日本占領期の社会調査と人類学の再編—民族学から文化人類学へ」末廣昭責任編集『岩波講座「帝国」日本の学知 第6巻 地域研究としてのアジア』岩波書店、2006年。
 - 中生勝美「戦時中の日本民族学—岡正雄の民族研究所—」、ヨーゼフ・クライナー編『日本民族学の戦前と戦後：岡正雄と日本民族学の草分け』東京堂出版、2013年。
 - 中生勝美「民族研究所の構想と『民族研究講座』」、神奈川県国際常民研究機構編『国際常民文化研究叢書 第11巻 「民族研究講座」講義録』2015年。
 - 中生勝美『近代日本の人類学史：帝国と植民地の記憶』風響社、2016年。
 - 中生勝美「戦時中のアメリカにおける対日戦略と日本研究：ミシガン大学ロバート・ホールを中心に」『桜美林論考 人文研究』第8号、2017年3月、99-110頁。
 - 長尾半平編『創立15年回想録』東京女子大学、1933年。
 - 長沢雅男「『日本の参考図書』—初版から『解説総覧』まで—」『書誌索引展望』第4巻第3号、1980年8月、5-8頁。
 - 中武香奈美「ドン・ブラウンとE・H・ノーマン—ドン・ブラウン書簡（控）から—」横浜開港資料館編『横浜開港資料館紀要』19、2001年3月、102-149頁
 - 長沼直兄・浅野鶴子「《対談》長沼直兄先生と日本語教育」日本語教師連盟『たより』第34号、1969年12月、48-60頁。
 - 中野捷三「海外日本研究図書館における蔵書構築の諸問題—オーストラリアを中心として—」(1)『びぶろす』Vol.35, No.2、1984年2月、1-12頁；同(2) Vol.35, No.3、1984年3月、1-16頁。
 - 中野捷三「国立国会図書館における『日本関係図書』の収集について」『国立国会図書館月報』283号、1984年10月、2-12頁。
 - 中野利子『外交官E・H・ノーマン：その栄光と屈辱の日々1909-1957』新潮社、2001年。
 - 中林隆明「上野図書館における洋書の形成について」石井敦先生古希記念論集刊行会編『転換期における図書館の課題と歴史：石井敦先生古希記念論集』緑陰書房、1995年。
 - 日外アソシエーツ社編『ジャパン Who was who 物故者事典 1983～1987』日外アソシエーツ、1988年。
 - 日外アソシエーツ社編『現代物故者事典 1988-1990』日外アソシエーツ、1993年。

- 日外アソシエーツ社編集部編『20世紀西洋人名事典』日外アソシエーツ、1995年。
- 日外アソシエーツ社編『20世紀日本人名事典』日外アソシエーツ、2004年。
- 日外アソシエーツ社編『外国研究書総目録 明治・大正・昭和前期』日外アソシエーツ、2008年。
- 日米大学図書館会議編『日米大学図書館会議報告書：70年代の大学図書館』大学図書館国際連絡委員会、1974年。
- 日米大学図書館会議議事録編集委員会編『日米大学図書館会議議事録』大学図書館国際連絡委員会、第1回；第3回、1970年；1977年。
- 二宮三郎「政治史料調査事務局沿革」『参考書誌研究』第37号、1980年3月、1-90頁。
- 日本キリスト教歴史大事典編纂委員会編『日本キリスト教歴史大事典』教文館、1988年。
- 日本外交史辞典編纂委員会編『新版日本外交史辞典』山川出版社、1992年。
- 日本学術振興会編『日本占領文献目録』日本学術振興会、1972年。
- 日本研究合同委員会編『米国における日本研究』外務省文化事業部、1971年。
(SSRC-ACLS Joint Committee on Japanese Studies, *Japanese Studies in the United States: Report on the State of the Field, Present Resources and Future Needs* (1970)の翻訳)
- 日本図書館学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語辞典』第4版、丸善出版、2013年。
- 日本図書館協会『中小都市における公共図書館の運営：中小公共図書館運営基準委員会報告』日本図書館協会、1963年。
- 「日本図書館協会120周年・キハラ100周年記念座談会：戦後の図書館を支えた人々」、キハラ100周年記念誌編集委員会編『図書館とともに：キハラ100年の歩み』キハラ、2014年。
- 日本図書館協会日本の参考図書編集委員会編『日本の参考図書 改訂版』日本図書館協会、1965年。
- 日本図書館協会日本の参考図書編集委員会編『日本の参考図書 補遺版』日本図書館協会、1972年。
- 日本図書館協会日本の参考図書編集委員会編『日本の参考図書 解説総覧』日本図書館協会、1980年。
- 日本図書館協会用語委員会『図書館用語集』四訂版、日本図書館協会、2015年。
- 日本図書館文化史研究会編『図書館人物事典』日外アソシエーツ、2017年。
- 日本の参考図書編集委員会編『日本の参考図書』日本の参考図書編集委員会（国際文化会館内）、1962年。
- 布川角左衛門「納本のゆくえ」『ちくま』30号、1971年10月、24-25頁。
- 根本彰・三浦太郎・中村百合子・古賀崇「政策文書に見るGHQ/SCAP民間情報教育局

- の図書館政策」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第39巻、1999年、453-478頁。
- 根本彰「占領初期における米国図書館関係者来日の背景—ALA文書ほかの一次資料に基づいて—」『日本図書館情報学会誌』第45巻 第1号、1999年、1-16頁。
 - 根本彰「占領期図書館政策を解明するための在米資料の紹介」『日本図書館情報学会誌』第45巻 第3号、1999年11月、125-134頁。
 - 根本彰（研究代表者）『占領期図書館研究の課題』（占領期図書館研究 第1集）東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室、1999年3月。
 - 根本彰編『戦後アメリカの国際的情報文化政策の形成』（占領期図書館研究 第2集）東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室、2001年3月。
 - 根本彰編『戦後教育文化政策における図書館政策の位置づけに関する歴史的研究』（占領期図書館研究 第3集）東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室、2005年3月。
 - 根本彰「『幻の東大ライブラリー・スクール』再考：占領期におけるアメリカ図書館学の導入過程解明の手がかりとして」吉田政幸・山本順一編『図書館情報学の創造的再構築』勉誠出版、2001年。
 - 根本彰 解題執筆『占領期教育指導者講習研究集録 昭和25年度 図書館学』すずさわ書店、2001年。
 - ハーバート・パッシン著・加瀬英明訳『米陸軍日本語学校』TBSブリタニカ、1981年。
 - ハーバート・パッシン『アメリカにおける日本研究の系譜 1945年～1984年：米陸軍日本語学校卒業生の足跡』学習院大学、1985年。
 - 羽仁五郎「国立国会図書館の創立」『図書館雑誌』Vol.59 No.8、1965年8月、29-34頁。
 - 林杲之介「日本関係欧文図書の収集と問題点」『参考書誌研究』3、1971年9月、21-25頁。
 - 原覚天『現代アジア研究成立史論—満鉄調査部・東亜研究所・IPRの研究—』勁草書房、1984年。
 - 原真由美「北米外国伝道協議会 CEA（東アジア委員会）の対日研究—1943年 CEA232のグリップスホルム報告とその背景—」『キリスト教と文化』関東学院大学キリスト教と文化研究所 2014年度所報、2015年、89-101頁。
 - 原田熊雄述『西園寺公と政局』全8巻及び別巻、岩波書店、1950-1956年。
 - 原田健一（聞き手）「インタビュー 第441 対敵諜報支隊第30地区（新潟）での仕事—ジェームズ・F・イングリッシュに聞く」『インテリジェンス』Vol.11、2011年、60-69頁。
 - 春山明哲「歴史のなかの調査局—ウィリアムズを手がかりとして—」『図書館研究シリーズ』24、1984年3月、7-39頁。
 - 春山明哲「金森徳次郎と草創期の国立国会図書館」、今まど子・高山正也編著『現代日

本の図書館構想—戦後改革とその展開』 勉誠出版、2013 年。

- 馬場伸也「占領とノーマン」『思想』 634、1977 年 4 月、55-84 頁。
- 福島鏗郎「アメリカに眠る米軍占領下の言論弾圧資料 下」『図書新聞』 1971 年 9 月 18 日。
- 福島鏗郎「アメリカにある占領下の出版物—East asia Collection の調査」『週刊読書人』 1973 年 8 月 13 日。
- 福田錠二「朝鮮の基督教」『救世』 第 2 号、救世社、1895 年 4 月、7-9 頁。
- 福田錠二「朝鮮紀行」『福音新報』 209 号、14-15 頁；210 号、32 頁；213 号、84-85 頁；214 号、103 頁、1895 年。
- 福田錠二『活動的基督教 教会復興運動』 基督教共励会東京事務所ほか、1912 年。
- 福田直美「引退されるビショップ博士」『図書館雑誌』 第 35 年第 5 号、1941 年 5 月、324-325 頁。
- 福田直美 抄訳「空襲下の英国図書館事業」『図書館雑誌』 第 35 巻第 7 号、1941 年 7 月、565-566 頁。
- 福田直美 抄訳「米国議院図書館の臨戦態勢」『図書館雑誌』 第 35 巻第 8 号、1941 年 8 月、623-626 頁。
- 福田直美「ミシガン大学図書館学校」『図書館雑誌』 第 35 年第 9 号、1941 年 9 月、672-677 頁。
- 福田なをみ編；細入藤太郎監修『明治・大正・昭和 邦訳アメリカ文学書目』 原書房、1968 年。
- 福田直美ほか「26 年前のアメリカ図書館視察談」『ライブラリアンズ・フォーラム』 Vol. 2 No.2、1985 年、2-14 頁。
- 福田直美「松本先生と私」、財団法人国際文化会館『追想松本重治』 刊行委員会編『追想 松本重治』 財団法人国際文化会館『追想 松本重治』 刊行委員会、1990 年。
- 藤井啓一「日本英語雑誌史」『帝塚山学院短期大学研究年報』 1、1953 年、92-239 頁。
- 藤岡泰周『海軍少将高木惣吉』 光人社、1986 年。
- 藤川正信編「図書館学教育の本質的諸問題—図書館教育セミナー」『図書館界』 Vol. 18 No.5、1967 年 1 月、148-157 頁。
- 藤田文子『アメリカ文化外交と日本—冷戦期の文化と人の交流』 東京大学出版会、2015 年。
- 藤野幸雄『資料・図書館・図書館員—30 篇のエッセイ—』 日外アソシエーツ、1994 年。
- 藤野幸雄『図書館へのこだわり』 勉誠出版、2001 年。
- 藤野幸雄『七十七年の回顧—喜寿を迎えて—』 藤野先生の喜寿を祝う会事務局、2008 年。

- 『藤野幸雄先生を偲ぶ会』藤野幸雄先生を偲ぶ会事務局、2015年。
- 文化庁『日本語教授法の諸問題』（日本語教育指導参考書 3）文化庁、1972年。
- 米国議会図書館編・国立国会図書館一般考査部編訳『レファレンスの手びき：米国議会図書館考査局一般考査書誌部の要領書』国立国会図書館一般考査部、1952年。
- ヒュー・ボートン著・斎藤真訳「日本研究の開拓者たち」細谷千博・斎藤真編『ワシントン体制と日米関係』東京大学出版会、1978年。
- ヒュー・ボートン著・五百旗頭真監修・五味俊樹訳『戦後日本の設計者—ボートン回想録』朝日新聞社、1998年。
- Gordon T. Bowles「ボールズ博士聞き書き」『季刊人類学』7-4、1976年12月、214-234頁。
- John W. Hall・金井圓・田辺龍郎『箱根会議議事録』Association for Asian Studies Conference on Modern Japan, Proceedings of Preliminary Seminars at Hakone, Japan, Aug.30-Sept.1, 1960. Tokyo: s.n., 1961.
- ジョン・ホイットニー・ホール（John Whitney Hall）著；金井圓訳「最近三〇年間のアメリカに於ける日本研究—特に近代史の解釈をめぐって—」『日本歴史』284、1972年1月、167-181頁。
- 細谷千博・斎藤真編『ワシントン体制と日米関係』東京大学出版会、1978年。
- 前川和子「日本におけるレファレンス教育の開拓者フランシス・チェニーに関する一考察」『桃園学院大学環太平洋圏経営研究』第9号、2008年3月、199-212頁。
- 前川和子「第二次世界大戦後図書館現職者教育における F. チェニーのレファレンス教育」『図書館文化史研究』No. 30、2013年、55-75頁。
- 前田多門『アメリカ人の日本把握』育生社、1940年。
- 『前田多門 その文・その人』前田多門刊行会、1963年。
- James C. MacNaughton・高見澤孟訳「太平洋戦争中（1941年-42年）の言語教育」『日本語教育研究』35号、1998年、47-63頁。
- 増田弘『公職追放—三大ページの研究』東京大学出版会、1996年。
- 松浦総三「占領下の言論抑圧、27年目の証言—メリーランド大学に在る GHQ 検閲の墓場から」『総合ジャーナリズム研究』9巻3号、1972年7月、133-142頁。
- 松浦総三『増補決定版 占領下の言論弾圧』現代ジャーナリズム出版会、1974年。
- 松方冬子『オランダ風説書 「鎖国」日本に語られた「世界」』中公新書、2010年。
- 松田武『戦後日本におけるアメリカのソフト・パワー—半永久的依存の起源』岩波書店、2008年。
- 松谷有美子「朝河貫一によるイェール大学図書館および米国議会図書館のための日本資料の収集」『Library and Information Science』72号、三田図書館・情報学会、2014年、1-35頁。

- 松宮一也『日本語の世界的進出』 婦女界社、1942 年。
- 松村正義『新版 国際交流史—近現代の広報文化外交と民間交流—』 地人館、2002 年。
- 松本脩作「日本におけるアジア関係史資料とネットワーク」 21 世紀 COE プログラム「史資料ハブ地域文化研究拠点」 総括班編『史資料ハブ地域文化研究』 1、2003 年 3 月、64-71 頁。
- モリー・グプテル・マニング著・松尾恭子訳『戦地の図書館：海を越えた一億四千万冊』 東京創元社、1916 年。
- 三浦太郎「占領期初代図書館担当官キーニーの来日・帰国の経緯および彼の事績について」『日本図書館情報学会誌』 第 45 巻 第 4 号、2000 年 1 月、141-154 頁。
- 三浦太郎「図書館法制定過程における CIE 図書館担当官の関与について」『図書館文化史研究』 第 17 号、2000 年、1-30 頁。
- 三浦太郎・根本彰「占領期日本におけるジャパン・ライブラリースクールの創設」『東京大学大学院教育学研究科紀要』 41 巻、2001 年、475-489 頁。
- 三浦太郎「占領下における CIE 第 2 代図書館担当官バーネットの活動」『東京大学大学院教育学研究科紀要』 第 45 巻、2005 年、267-277 頁。
- 三浦太郎「CIE 情報課長ドン・ブラウンと図書館—図書館員養成との関わりを軸に」『明治大学図書館情報学研究会紀要』 No. 2、2011 年、28-37 頁。
- 三浦太郎「ドン・ブラウンと再教育メディアとしての図書館」、今まど子・高山正也編著『現代日本の図書館構想：戦後改革とその展開』 勉誠出版、2013 年。
- 見田宗介・栗原彬・田中義久 編集委員『社会学事典』 弘文堂、1988 年。
- 薬袋秀樹「志智嘉九郎『レファレンス・ワーク』の意義」、三浦逸雄・朝比奈大作編『現代レファレンス・サービスの諸相』 日外アソシエーツ、1993 年。
- 南直子「IPR（太平洋問題調査会）とアメリカの日本研究」『総研大文化科学研究』 13、2017 年、257-264 頁。
- 南博「マス・コミュニケーション—占領と日本」『思想』 1953 年 6 月号、729-741 頁。
- 宮杉浩泰「知られざる外務省の情報戦」『歴史読本』 57 (1)、2012 年、198-203 頁。
- 宮本又次編『アメリカの日本研究』 東洋経済新報社、1970 年。
- 村上美代治「第二次世界大戦とアメリカの図書館活動—アメリカの世界戦略と図書館政策—」『大図研論文集』 第 15 号、1989 年 6 月、123-133 頁。
- 森岡清美・塩原勉・本間康平 編集代表『新社会学辞典』 有斐閣、1993 年。
- 森園繁「アメリカの大学図書館での経験」慶應義塾大学研究教育情報センター『KULIC』 2、1971 年 6 月 1 日、22-26 頁。
- 森園繁「アメリカの図書館学校に学んで」『薬学図書館』 16 巻 4 号、1971 年、166-169 頁。
- 森園繁『メリーランド大学所蔵日本語資料』 について』『びぶろす』 25 巻 11 号、1974

年 11 月号、1-9 頁。

- 文書館用語集研究会編『文書館用語集』大阪大学出版会、1997 年。
- 文部省『学術用語集 図書館学編』大日本図書株式会社、1958 年。
- 山内晴子『朝河貫一論—その学問的形成と実践—』早稲田大学出版部、2010 年。
- 山家豊「幻の『アメリカ経済図表』」宮川実編著『回想の長谷部文雄』八潮書店、1981 年。
- 山極晃「OSS 文書について」(1)『経済と貿易』120 号横浜市立大学経済研究所、1976 年 12 月、73-87 頁。(2) 121 号、1977 年 3 月、106-118 頁。
- 山極越海「米国に於ける日本語研究」『国語と国文学』第 18 巻第 2 号、1941 年、167-183 頁。
- 山口高等商業学校『山口高等商業学校沿革史』山口高等商業学校、1940 年。
- 山梨日日新聞社編『清里の父 ポール・ラッシュ伝』ユニバース出版社、1986 年。
- 山本武利「CCD 雇用の日本人検閲者の労働現場—人数、職名、組織」『Intelligence』20 世紀メディア研究所刊、Vol. 16、2016 年 3 月、61-65 頁。
- 山本武利『ブラック・プロパガンダ—謀略のラジオ』岩波書店、2002 年。
- 山本正編著『戦後日米関係とフィランソロピー：民間財団が果たした役割 1945 年～1975 年』ミネルヴァ書房、2008 年。
- 弥吉光長『参考図書の解題』（日本図書館協会編図書館実務叢書 8）理想社、1955 年。
- 『読売新聞』1900 年 3 月 16 日朝刊。
- 油井大三郎「日本における地域研究の現状とこれから」、日本貿易振興機構アジア経済研究所建久支援部編『アジア経済』48 巻 9 号、2007 年 9 月、58-68 頁。
- 横山學「太平洋戦争開戦時の坂西志保と日本送還」『生活文化研究所年報』第 20 輯、ノートルダム清心女子大学生生活文化研究所、2007 年 3 月、75-111 頁。
- 横山學「坂西志保の集書活動と横山重一戦前の米国議会図書館蔵日本古典籍—」『生活文化研究所年報』第 24 輯、ノートルダム清心女子大学生生活文化研究所、2011 年 3 月、79-128 頁。
- 横山學「坂西志保宛横山重書翰（昭和 12 年 9 月～昭和 16 年 8 月）[本文篇]」『生活文化研究所年報』第 25 輯、ノートルダム清心女子大学生生活文化研究所、2012 年 3 月、125-306 頁。
- 横山學「横山重の米国議会図書館蔵日本古典籍解題」『生活文化研究所年報』第 26 輯、ノートルダム清心女子大学生生活文化研究所、2013 年 3 月、91-250 頁。
- 吉岡郷甫『文語口語対照語法』光風館、1933 年。
- 吉田勉『マイクロフィルムガイド』日本マイクロ写真協会、1971 年。
- 吉田右子「チャールズ・B・ファーズの生涯」、吉田政幸・山本順一編『図書館情報学の創造的再構築』勉誠出版、2001 年。

- 吉田右子「コミュニティ・メディアセンターとしての公共図書館—アメリカ図書館協会と戦時情報局の戦時情報政策」『日本図書館情報学会誌』第48巻 第3号、2002年9月、121-137頁。
- 吉原努「『満鉄本』の話」『国立国会図書館月報』685号、2018年5月、20-25頁。
- 吉村道男「一九三五、三六年における外務省の国内状況認識の一面—外務省調査部作成『国内情報』の意味—」『外交史料館報』15号、2001年、88-104頁。
- エドウィン・O・ライシャワー著・徳岡孝夫訳『ライシャワー自伝』文芸春秋、1987年。
- 立教学院百二十五年史編纂委員会編『立教学院百二十五年史 資料編』第一巻、立教学院、1996年。
- 立教大学アメリカ研究所編『立教大学アメリカ研究所図書目録』立教大学アメリカ研究所、1942年2月。
- 立教大学アメリカ研究所編『創設期の立教大学アメリカ研究所資料集』（アメリカ研究シリーズ 第16号）立教大学アメリカ研究所、1994年。
- 立教大学立教学院史資料センター編『立教大学の歴史』立教大学、2007年。
- 竜門社編『渋沢栄一伝記資料』第35巻、第39巻、第40巻、第45巻、渋沢栄一伝記資料刊行会、1961-62年。
- ルイーゼ・S・ロビンズ；川崎良孝訳『検閲とアメリカの図書館：知的自由を擁護するアメリカ図書館協会の闘い 1939-1969』日本図書館研究会、1998年。
- 和田敦彦『書物の日米関係—リテラシー史に向けて』新曜社、2007年。
- 和田敦彦『越境する書物—変容する読書環境の中で』新曜社、2011年。
- 和田敦彦『読書の歴史を問う—書物と読者の近代』笠間書院、2014年。
- 渡辺惣樹『日本開国—アメリカがペリー艦隊を派遣した本当の理由』草思社文庫、2016年（原本：草思社、2009年）。
- 渡辺靖『アメリカン・センター—アメリカの国際文化戦略』岩波書店、2008年。
- 和朗フラット四号館管理室『和朗フラット四号館 ちょっと住んでみたいところ。昭和十一年の洋館アパートメント』森守、2013年。

<英語>

- “A. L. A. salary standards officially approved by C. L. A.”, *Library Journal*, November 15, 1948, pp.1686-1687.
- *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 7, April, 1928; No.9, December 1928; No. 14, November 1930; No. 18, October 1932; No. 20, December 1933; No.22, October 1934; No.23, June 1935; No. 26, June 1937; No. 27, November 1938; No. 28, May 1939.
- “Army Library Service”, *Wilson Library Bulletin*, Vol.27, No.10, June 1953, p.829.

- Association for Asian Studies, Inc. Committee on East Asian Libraries, *Library Resources on East Asia*, Inter Documentation Company AG, ZUG - Switzerland, 1967.
- Association of Research Libraries. Office of Management Studies, *Workshop for Japanese Collection Librarians in American Research Libraries*, ARL Office of Management Studies, Washington, D.C., 1978
- Beal, Edwin G., Jr., "The Library of Congress and the Acquisition of Far Eastern Books and Materials", *The Far Eastern Quarterly*, Vol. XV No.3, May 1956, pp.467-472.
- Biggerstaff, Knight and Hugh Borton, "Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1940", *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 33, October 1941, pp.79-81.
- Biggerstaff, Knight and Joseph K. Yamagiwa, "Committees on Far Eastern Studies", *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 42, March 1949, pp.53-55.
- Borton, Hugh, Sergi Elisseeff, and Mortimer Graves, "Robert Karl Reischauer, 1907-1937", *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 27, November 1938, pp.97-98.
- Borton, Hugh, Serge Elisseeff, and Edwin O. Reischauer, comps., *A Select List of Books and Articles on Japan in English, French, and German*, Committee on Japanese Studies, American Council of Learned Societies, 1940.
- Bradsher, Greg, "A 'Constantly Recurring Irritant': Returning Captured and Seized Japanese Records, 1946-1961", in Edward Drea, et al, *Researching Japanese War Crimes Records: Introductory Essays*, Nazi War Crimes and Japanese Imperial Government Records Interagency Working Group, 2006.
- Burnette, Paul Jean, "The Army Library", *The Library Quarterly*, Vol, 27 No.1, January 1, 1957, pp.23-48.
- CEAL Task Force on Library Resources and Access, "Current Status of East Asian Collections in American Libraries 1979/80 (Final Report)", *CEAL Bulletin*, nos.70/71, June 1983, pp.68-77.
- *Chinese Repository*, Vol. 1-20, 1832-1851 (Reprinted by Maruzen, 19--).
- Clarke, Gerald, "U. M. Obtains 6,000 Volumes Telling Of Postwar Japan", *The Sun*, Baltimore, March 24, 1965.
- Colton, Kenneth E., Hattie Kawahara Colton, and George O. Totten, eds., *Japan Since Recovery of Independence*, *The Annals of the American Academy of Political and Social Science*, Vol. 308, November 1956.
- Committee on American Library Resources on the Far East, *Newsletter*, No.19, April 28, 1967.
- Committee on Chinese and Japanese Studies, American Council of Learned Societies, "Seminar on Far Eastern Studies at Berkeley, 1937", *Notes on Far Eastern Studies in America*,

No.2, January 1938, pp.17-18.

- Committee on East Asian Libraries, *Newsletter*, No. 19, April 28, 1967; No. 20, July 1, 1967; No.22, December, 1967; No. 24, May 1968; No. 29, May 15, 1969; No. 33, 1970; No.41, September 1973; No.42, December 1973; No.47, July; Nos.70/71, June 1983.
- “Committee on Far Eastern Studies: Report of Activities Through 1946”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 40, May 1947, pp.85-86.
- “Committee on Japanese Studies: Report for 1944”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 38, October 1945, pp.77-78.
- “Documents Ruined: Md. U. Weighs Flood Loss”, *Washington Evening Star*, July 30, 1970.
- Downs, Darley, “The School of Japanese Language and Culture, Tokyo”, *Notes on Far Eastern Studies in America*, No.3, June 1938, pp.13-15.
- Downs, Robert R., *Perspectives on the Past: An Autobiography*, Metuhen, N. J.: The Scarecrow Press, 1984.
- *East Asian libraries: problems and prospects: a report and recommendations*, prepared by the Steering Committee for a study of the Problems of East Asian Libraries for the American Council of Learned Societies, American Council of Learned Societies, 1977.
- Elisseeff, Serge and Edwin O. Reischauer, comps., *Elementary Japanese for University Students*, Harvard-Yenching Institute, 1941. 2nd enlarged edition, 1942.
- Evans, Frank B., “The Organization and Status of Archival Training: An Historical Perspective”, in International Council on Archives, ed., *Professional Training of Archives*, K. G. Saur, 1988.
- Fahs, Charles B., “Problems of Teaching the Japanese Language in America”, *Notes on Far Eastern Studies in America*, No.2, January 1938, pp.23-29.
- “The Far Eastern Association Inc.”, *The Far Eastern Quarterly*, Vol. VII No. 4, August 1948, pp.410-418.
- Fenton, William Nelson, *Area Studies in American Universities*, Commission on Implications of Armed Services Educational Programs, American Council on Education, 1947.
- “A Few New Aids to Japanese Language Teaching”, *Notes on Far Eastern Studies in America*, No.3, June 1938, p.39.
- Fukuda, Naomi, *Libraries for Japanese Studies: A Report of a Survey by Naomi Fukuda*, The International House of Japan, Inc., 1963.
- Fukuda, Naomi, “Tokyo Way, November - December, 1973”, *University of Michigan Librarian*, v.5, no.16, February 21, 1974, p.6.
- Fukuda, Naomi, "Japanese Libraries for Japanese Studies", in Association of Research Libraries, *Office of Management Studies, Workshop for Japanese Collection Librarians in*

American Research Libraries, ARL Office of Management Studies, Washington, D.C., 1978. pp.58-65.

- Fukuda, Naomi, ed., *Bibliography of Reference Works for Japanese Studies*, Center for Japanese Studies, The University of Michigan, 1979.
- Fukuda, Naomi, *Survey of Japanese Collections in the United States, 1979-1980*, (Michigan Papers in Japanese Studies, no.4), The University of Michigan, Center for Japanese Studies, 1980.
- Fukuda, Naomi, *Japanese History: A Guide to Survey Histories*, 2 vols. Center for Japanese Studies, University of Michigan, 1984-1986.
- Girona, Ramon, and Jordi Xifra, “The Office of Facts and Figures: Archibald MacLeish and the ‘Strategy of Truth’”, *Public Relations Review*, 35, 2009, pp.287-290.
- Gitler, Robert; Michael Buckland, ed., *Robert Gitler and the Japan Library School: An Autobiographical Narrative*, The Scarecrow Press, 1999.
- Gonnami, Tsuneharu, “My Recollections of Ms. Naomi Fukuda”, *Journal of East Asian Libraries*, No. 145, June 2008, pp.15-20.
- Graves, Mortimer, “Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1933”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 22, October 1934, pp.69-73.
- Graves, Mortimer, “Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1934”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 23, June 1935, pp.72-77.
- Graves, Mortimer, “Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1935”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 25, July 1936, pp.69-74.
- Graves, Mortimer (compiled by the Permanent Secretary with assistance of the Chairmen, A. W. Hummel (Committee on Chinese Studies) and Langdon Warner (Committee on Japanese Studies)), “Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1936”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 26, June 1937, pp.58-66.
- Graves, Mortimer, “Committees on Chinese and Japanese Studies: Report of Activities, 1937”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 27, November 1938, pp.69-74.
- Graves, Mortimer, “Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1938”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 29, July 1939, pp.46-49.
- Graves, Mortimer, “Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1939”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 31, June 1940, pp.66-70.
- Graves, Mortimer, “Committees on Far Eastern Studies: Report of Activities, 1941”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 35, October 1942, pp.77-81.
- Graves, Mortimer, “Intensive Language Study”, *Far Eastern Survey*, March 22, 1943, pp.63-64.

- Gregory, Winifred, ed., (for the ACLS, ALA, NRC), *List of the Serial Publications of Foreign Governments, 1815-1931*, The H. W. Wilson Company, 1932.
- Hall, Robert B., *Area Studies: With Special Reference to Their Implications for Research in the Social Sciences*, Social Science Research Council Pamphlet 3, May, 1947.
- Hardacre, Helen, ed., *The Postwar Development of Japanese Studies in the United States*, Brill, 1998.
- Henrickson, Gertrude, "Army Library Service in Japan", *Massachusetts Library Association Bulletin*, Vol.36, October 1946, pp.57-59.
- Howes, John F., "Japanese Christians and American Missionaries", (originally published in Marius B. Jansen, ed., *Changing Japanese Attitudes Toward Modernization*, Princeton University Press, 1965 and reprinted) in Mark R. Mullins, ed., *Critical Readings on Christianity in Japan*, Volume two, Brill, 2015.
- Hylton, Percy, "A Librarian in Japan", *Library of Congress Information Bulletin*, August 12-18, 1947, pp.8-9.
- International House of Japan, Inc., *Summary Report of the initial five years of the International House of Japan, Inc.*, The International House of Japan, Inc., 1957.
- International House of Japan, Inc., *The International House of Japan, Inc. Challenge, Response, Progress, 1952-1962*, The International House of Japan, Inc., 1962.
- International House of Japan, Inc., *Annual Report*, April 1960-March 1961, International House of Japan, Inc., n.d. [1961?].
- International House of Japan, Inc., *The Postwar Development of Japanese Studies in the United States – A Historical Review and Prospects for the Future* (International House of Japan 40th Anniversary Symposium), International House of Japan, Inc., 1993.
- International House of Japan Library, *International House of Japan Library News*, No. 19, October 1961; No.22, October 1964; No.23, October 1966.
- Ishimatsu, Yuki, "Dear Miss Fukuda", *Journal of East Asian Libraries*, No. 145, June 2008, pp.23-24.
- Jamieson, John, *Books for the Army: The Army Library Service in the Second World War*, Columbia University Press, 1950.
- Janssens, Rudolf V. A. "What Future for Japan?": *U.S. Wartime Planning for the Postwar Era, 1942-1945*, Amsterdam, Rodopi, 1995.
- Janssens, Rudolf V. A., *Power and Academic Culture: The Founding and Funding of Japanese Studies in the United States*, USJP Occasional Paper 96-03, Program on U.S.-Japan Relations, Harvard University, 1996.
- The Japan Foundation, *Japanese Studies in the United States: The 1980's*, The Japan

- Foundation, 1984. (Survey undertaken by the Joint Committee on Japanese Studies of the American Council of Learned Societies and the Social Science Research Council).
- The Japan Foundation, *Japanese Studies in the United States. Part I: History and Present Condition; Part II : Directory of Japan specialists and Japanese studies institutions in the United States and Canada*, Association for Asian Studies, 1988-1989.
 - The Japan Foundation, *Japanese Studies in the United States: The 1990s*, Japanese Studies Series XXVI, The Japan Foundation and The Association for Asian Studies, 1996.
 - The Japan Foundation, *Japanese Studies in the United States: Directory of Japan Specialists and Japanese Studies Institutions in the United States and Canada*, Volume I: Japan Specialists, The Japan Foundation, 2006.
 - “Japanese Collection Creates New Positions at University Library”, *Library News* (University of Maryland), Vol. 21, No.4, January 1965.
 - Jaques Cattell Press, ed., *American Men of Science: A Biographical Directory*, tenth ed., The Social & Behavioral Sciences, The Jaques Cattell Press, 1962.
 - Jaques Cattell Press, ed., *American Men of Science: A Biographical Directory*, 11th ed., Bowker, 1968.
 - Johnson, Margaret L., “Flora Belle Ludington: A Biography and Bibliography”, *College and Research Libraries*, September 1964, pp.375-379.
 - Jones, Adrian, “Guide to Japanese Reference Books. Chicago: American Librarians Association, 1966. Pp.xii+303. \$10.00”, *The Library Quarterly*, Vol.37 no.3, July 1967, pp.321-322.
 - *Journal of East Asian Libraries*, Council on East Asian Libraries, The Association for Asian Studies, Inc., No. 145, June 2008.
 - Kai, Miwa, “Naomi Fukuda, 1907-2007: Reminiscences”, *Journal of East Asian Libraries*, No. 145, June 2008, pp.21-22.
 - Katz, Barry M., *Foreign Intelligence: Research and Analysis in the Office of Strategic Services, 1942-1945*, Harvard University Press, 1989.
 - Koide, Izumi, “Following the Road Paved by Naomi Fukuda”, *Journal of East Asian Libraries*, No. 145, June 2008, pp.5-12.
 - Koide, Izumi, “Locating Primary Source Materials in Japanese Archival Institutions: The Role of Area Studies Librarians in North America”, *Journal of East Asian Libraries*, No. 151, June 2010, pp.1-12.
 - Koide, Izumi, “Catalyst for the Professionalization of Librarianship in Postwar Japan: Naomi Fukuda and the United States Field Seminar of 1959”, *Asian Cultural Studies*, No. 39, March 2013, pp.65-78.
 - Kraske, Gary E., *Missionaries of the Book: The American Library Profession and the Origins*

of United States Cultural Diplomacy, Greenwood Press, 1985.

- Kuroda, Andrew Y., “A History of the Japanese Collection in the Library of Congress 1874-1941”, in 『図書館資料論集：仙田正雄教授古希記念』天理：仙田正雄教授古希記念会、1970年、281-327頁。
- Latourette, Kenneth Scott, “Far Eastern Studies in the United States: retrospect and Prospect”, *The Far Eastern Quarterly*, Vol. XV No. 1, November 1955, pp.3-11.
- Library of Congress, *Information Bulletin*, Dec. 1943-Dec. 1946; Dec. 1948-July 1949.
- Library of Congress, *Report of the Librarian of Congress and Report of the Superintendent of the Library Building and Grounds for the Fiscal Year Ending June 30, 1907*, Government Printing Office, 1907. Ditto, 1911 (1911); 1917 (1917).
- Library of Congress, *Report of the Librarian of Congress for the Fiscal Year Ending June 30, 1926*, Government Printing Office, 1926. Ditto, 1928 (1928); 1929 (1929); 1930 (1930); 1931 (1931); 1932 (1932); 1933 (1933); 1934 (1934); 1935 (1935); 1936 (1936); 1937 (1937); 1938 (1939); 1939 (1940); 1940 (1941); 1941 (1942); 1942 (1943); 1943 (1944); 1944 (1945); 1945 (1946); 1946 (1947); 1948 (1949); 1949 (1950); 1950 (1951); 1951 (1952).
- Library of Congress Periodicals Division, *A Check List of Foreign Newspapers in the Library of Congress*, Government Printing Office, 1929.
- Makino, Yasuko, “Eulogy of Ms. Naomi Fukuda”, *Journal of East Asian Libraries*, No. 145, June 2008, pp. 1-4.
- McNaughton, James C., *Nisei Linguists: Japanese Americans in the Military Intelligence Service during World War II*, Department of the Army, 2006.
- McNelly, Theodore, *Witness to the Twentieth Century: The Life Story of a Japan Specialist*, Xlibris, 2005.
- Massey, Elizabeth and Joseph A. Massey, *CULCON Report on Japanese Studies at Colleges and Universities in the United States in the Mid-70s*, prepared for the Subcommittee on Japanese Studies, U.S.-Japan Conference on Cultural and Educational Interchange, New York: Japan Society, Inc., March 1977.
- Matthew, Robert John, *Language and Area Studies in the Armed Services: Their Future Significance*, American Council on Education, 1947.
- “Md. Library Tries to Dry Books Damaged in Flooded Basement”, *Washington Post*, July 30, 1970.
- Morita, James R., “*Nihon no sanko tosho*. Edited by Nihon No Sanko Tosho Henshu Iinkai. Tokyo, 1962. 1800 yen (\$5.00)”, *Library Quarterly*, Vol.33 No.1, January 1963, p.154-155.
- Nakashima, Tomoko, “The Formative Years of the Transpacific Networks Promoting Japanese Studies in America”, 『東京大学アメリカ太平洋研究』第4号、2004年3月、111-127

頁。

- Nelson, Caitlin, "'Midway Between the Occident and the Orient' The Glenn W. Shaw Collection at the Asia Collection, University of Hawaii, Manoa", *Journal of East Asian Libraries*, No. 139, 2006, pp.18-26.
- Nihon no Sanko Tosho Henshu Inkai, ed., *Guide to Japanese Reference Books*, Chicago: ALA, 1966.
- Nihon no Sanko Tosho Henshu Inkai, ed., *Guide to Japanese Reference Books, Supplement*, Library of Congress, 1979 (Translation of Nihon no Sanko Tosho Hoiban).
- Ninkovich, Frank A., *The Diplomacy of Ideas: U.S. Foreign Policy and Cultural Relations, 1938-1950*, Cambridge University Press, 1981.
- *Notes on Far Eastern Studies in America*, American Council of Learned Societies, No.1, June 1937 - No.12, spring 1943.
- Nunn, G Raymond with June Otsuki and Yukihisa Suzuki, comps., *Books on Japan 1941-1954 In Western Languages in the General Library of the University of Michigan*, University of Michigan, 1954.
- Nunn, G. Raymond and Tsuen-Hsui Tsien, "Far Eastern Resources in American Libraries", *Library Quarterly*. V.29 No. 1, 1959. pp. 27-42.
- Nunn, G. Raymond, "Guide to Japanese Reference Books: Nihon no Sankotosho. Edited and translated by the Library, International House of Japan. Chicago: American Library Association, 1966. 303pp. \$10.00" *Journal of Asian Studies*, Vol.26 no.4, August 1967, pp.709-710.
- General Orders No. 13. *Operations of the Civil Intelligence Section, GHQ, FEC & SCAP, Volume IX, Intelligence Series (I), Military Intelligence Section*, General Staff, 1949.
- Packard, George R., *Edwin O. Reischauer and the American Discovery of Japan*, Columbia University Press, 2010.
- Palmer, William A., Jr. and Edited by the Military Librarians Division, Special Libraries Association, *Military Librarians Workshop: A Premier Gathering of Military Librarians, 1957-1999*, Carroll, 2000.
- Pearce-Moses, Richard, *A Glossary of Archival and Records Terminology*, The Society of American Archivists, 2005.
- Poullada, Leon B., "Army Library Service in the Pacific", *Library Journal*, April 1, 1946, pp. 439-441, 470-471.
- Price, John, "E.H. Norman, Canada and Japan's postwar constitution", *Pacific Affairs* 74, no.3, Fall 2001, pp.383-405.
- Price, Paxton, ed., *International Book and Library Activities: The History of A U.S. Foreign*

Policy, The Scarecrow Press, 1982.

- Quigley, Harold A., *Japanese Government and Politics; An Introductory Study*, N.Y.: Century, 1932.
- Quigley, Harold A. and John E Turner, *The New Japan: Government and Politics*, University of Minnesota Press, 1956.
- Reischauer, Robert Karl, *Early Japanese History (C. 40 B.C. - A. D. 1167) Part A*, Princeton, Princeton University Press; London, H. Milford, Oxford University Press, 1937; Jean Reischauer, and Robert Reischauer, *Pt B*, Princeton University Press, 1937.
- Rose-Innes, Arthur, *Conversational Japanese for beginners*. Yokohama, Yoshikawa, 1926.
- Schellenberg, Theodore Roosevelt, *Modern Archives: Principles and Techniques*, University of Chicago Press, 1956.
- Schellenberg, Theodore Roosevelt, *Management of Archives*, Columbia University Press, 1965.
- Schellenberg, Theodore Roosevelt, “Archival Training in Library Schools”, *American Archivist*, Vol. 31, No. 2, April 1968, pp.155-165.
- Shulman, Frank Joseph, comp. & ed., *Japan and Korea: an annotated bibliography of doctoral dissertations in Western languages, 1877-1969*, American Library Association, 1970.
- Shulman, Frank Joseph, comp. & ed. *Doctoral Dissertations on Japan and on Korea, 1969-1979*. University of Washington Press, 1982.
- Siggins, Jack A., “Description of the University of Maryland East Asian Collection”, *Committee on East Asian Libraries Newsletter*, No. 34, July 1971, pp.6-8.
- SSRC-ACLS Joint Committee on Japanese Studies, *Japanese Studies in the United States: Report on the State of the Field, Present Resources and Future Needs*, [s. n.], 1970.
- Takagi, Yasaka, *A Survey of Japanese Studies in the Universities and Colleges of the United States*, Honolulu, Institute of Pacific Relations, 1935.
- Tanaka, Azusa, “Remembering Naomi Fukuda”, *Journal of East Asian Libraries*, No. 145, June 2008, pp.11-12.
- Takemae, Eiji; translated and adapted from the Japanese by Robert Ricketts and Sebastian Swann, *The Allied Occupation of Japan*, N.Y.: Continuum, 2003.
- Thomison, Dennis, *A History of the American Library Association, 1876-1972*, American Library Association, 1978.
- Tsunoda Ryusaku Sensei Kinen Kikin, *Ryusaku Tsunoda Sensei, 1877-1964*, Tsunoda Ryusaku Sensei Kinen Kikin, [no date].
- United States. Armed Forces Information and Education Division, *A Pocket Guide to Japan*, United States Government Printing Office, 1950.

- United States. Far Eastern Command. General Headquarters. Troop Information and Education Section, *Far East Duty*, Tokyo: Troop Information and Education Section, GHQ, FEC, January 1949.
- United States. War Department. Office of the Assistant Secretary of War. Strategic Services Unit History Project, *War Report of the OSS (Office of Strategic Services) with a new introduction by Kermit Roosevelt*, Walker Publishing Co., 1976.
- United States Field Seminar on Library Reference Services for Japanese Librarians, *American Libraries: Report of the U.S. Field Seminar on Library Reference Services for Japanese Librarians*, International House of Japan, 1960.
- University of Michigan, *University of Michigan Official Publication*, Vol. 40, No.4, June 13, 1938.
- University of Michigan, *College of Literature, Science, and the Arts, 1966-67, The University of Michigan Official Publication*, 1966.
- University of Michigan, *A Select List of Books on Tokyo 1868-1971*. The Asia Library and The Center for Japanese Studies, University of Michigan, 1975.
- University of Michigan, *An Annotated Select List of Japanese Labor Statistical Materials, Postwar to the Present*, The Asia Library and The Center for Japanese Studies, University of Michigan, 1977.
- University of Michigan. The Center for Japanese Studies, ed., *Japan in the World, the World in Japan: Fifty Years of Japanese Studies at Michigan*, The Center for Japanese Studies, The University of Michigan, 2001.
- “Visitors”, *Library of Congress Information Bulletin*, April 20-26, 1946, p.3.
- Wan, Weiyang, “Naomi Fukuda at Michigan”, *Journal of East Asian Libraries*, No. 145, June 2008, pp.25-26.
- Ward, Robert E. and Frank J. Shulman, with the assistance of Masashi Nishihara and Mary Tobin Espey, compiled and ed. for the Joint Committee on Japanese Studies of the Social Science Research Council-American Council of Learned Societies and the Center for Japanese Studies of the University of Michigan, *The Allied Occupation of Japan, 1945-1952: An Annotated Bibliography of Western-language Materials*, American Library Association, 1974.
- Ward, Robert E. and Bryce Wood, “Foreign Area Studies and the Social Science Research Council”, *ITEMS*, Social Science Research Council, Vol. 28 no.4, December 1974, pp.53-58.
- Warner, Langdon, “Committees on Japanese Studies: Report of Activities, 1931”, *American Council of Learned Societies Bulletin*, No. 18, October 1932, pp.66-67.
- Watanabe, Shinichi, comp., *A Select List of Books on the History of Education in Japan and A Select List of Periodicals on Education*, The Asia Library and The Center for Japanese

Studies, University of Michigan, 1976.

- Webb, Herschel, “Guide to Japanese reference books, (Chicago, American Library Association, 1966), 303pp., \$10.00.”, *Journal of Asian History*, Vol.3 No.2, 1969, pp.175-176.
- Windler, Allan M., *The Politics of Propaganda: The Office of War Information, 1942-1945*, Yale University Press, 1978.
- *World Encyclopedia of Library and Information Services*, 3rd ed., American Library Association, 1993.
- Yamagiwa, Joseph K., “Needs in Japanese Language Teaching”, *Notes on Far Eastern Studies in America*, No.3, June 1938, pp.5-8.
- Yamagiwa, Joseph K., “Report of the Japanese Language Seminar, 1937”, *Notes on Far Eastern Studies in America*, No.3, June 1938, pp.18-22.
- Yamagiwa, Joseph K., “Reading Materials and the Advanced Japanese Course”, *Notes on Far Eastern Studies in America*, No.7, June 1940, pp.25-29.
- Yamagiwa, Joseph K., “The Japanese Language Summer School, 1938”, *Notes on Far Eastern Studies*, No. 4, January 1939, pp.9-16.
- Yamagiwa, Joseph K., *The Japanese Language Programs at the University of Michigan during World War II*, University of Michigan, 1946.
- Yamashita, Samuel Hideo, “Asian Studies at American Private Colleges, 1808-1990”, in Suzanne Wilson Barnett and Van Jay Symons, eds., *Asia in the Undergraduate Curriculum: A Case for Asian Studies in Liberal Arts Education*, M. E. Sharpe, 2000.
- Yang, Teresa, Thomas C. Kuo, Frank Joseph Shulman, *East Asian Resources in American Libraries*, N.Y.: Baragon Book Gallery, 1977.
- Young, John, *Checklist of microfilm reproductions of selected archives of the Japanese Army, Navy, and other government agencies, 1868-1945*, Georgetown University, 1959.
- Yutani, Eiji, “Farewell, Ms Fukuda: A Tribute to a Great Librarian”, *Journal of East Asian Libraries*, No.145, June 2008, pp.13-14.
- Zhou, Peter X., ed., *Collecting Asia: East Asian Libraries in North America, 1868-2008*, Association for Asian Studies, Inc., 2010.

ウェブ上に公刊された資料

<日本のウェブサイト>

アジア歴史資料センター(JACAR) <https://www.jacar.go.jp/> 2019-02-19 確認

- 外務省外交史料館>外交彙報附録月報・外務省月報・外務省報>『外務省報』

- 外務省官制及内規関係雑件（制度改正ニ関スル参考書報）第四卷（M-1-2-0-2_004）（外務省外交史料館） JACAR（Ref.B14090132100）
- 外務省執務報告昭和十一年度情報部（情_273）（外務省外交史料館） JACAR（Ref. B10070274400）
- 外務省執務報告昭和十二年度情報部（情_274）（外務省外交史料館） JACAR（Ref. B10070274700）
- 外務省執務報告昭和十三年度情報部（情_275）（外務省外交史料館） JACAR（Ref. B10070274900）
- 外務省執務報告調査部「昭和 14 年度 執務報告」（調査_297）（外務省外交史料館） JACAR（Ref. B10070428000）
- 国際文化振興会『本邦国際文化団体便覧』昭和 9 年 9 月現在 112－113 頁；昭和 10 年 10 月改訂増補 111－112 頁。 JACAR（Ref.B04012385200）件名 各国ニ於ケル協会及文化団体関係雑件／米国ノ部（属領地ヲ含ム） 第二卷 4. Society for Japanese Student[マ]。
- 国立公文書館＞内閣＞公文類聚＞昭和元年～20 年＞第 67 編・昭和 18 年＞公文類聚・第六十七編・昭和十八年・第十六卷・官職十・官制十（文部省一）「民族研究所官制ヲ定メ○高等官官等俸給令中ヲ改正ス」 JACAR（Ref.A14101085000）
- 国立公文書館＞内閣＞公文類聚＞昭和元年～20 年＞第 69 編・昭和 20 年＞公文類聚・第六十九編・昭和二十年・第十六卷・官職十・官制十（司法省・文部省一）「選鋳製錬研究所官制外二勅令中ヲ改正ス」 JACAR Ref. A14101285500
- 日本ニ関スル外国新聞記事関係雑纂（雑誌ヲ含ム） 第八卷（A-3-5-0-9_008）（外務省外交史料館） JACAR（Ref. B02031105800）
- 米国事情（引揚邦人報告）（調査六_1）（外務省外交史料館） JACAR（Ref. B10070467900、および Ref.B10070468000）
- 本邦学校関係雑件第一卷(1) 雑分割 2（外務省外交史料館）、日語文化学校事業（昭和 8 年第 1 期） JACAR（Ref. B04012174800）
- 本邦学校関係雑件第二卷 2. 学校別(15)／日語文化学校（外交史料館） JACAR（Ref. B04012185000）
- 自昭和九年至昭和十三年 本邦ニ於ケル協会及文化団体関係雑件、国際文化振興会関係（外務省外交史料館） JACAR（Ref. B04012422200.bi0043.i-0447.00000005）

国立国会図書館

- 国会会議録検索システム <http://kokkai.ndl.go.jp/>
- 帝国議会議録検索システム <http://teikokugikai-i.ndl.go.jp/>
- NDL オンライン <https://ndlonline.ndl.go.jp>
- 電子展示会 近代日本人の肖像 <https://www.ndl.go.jp/portrait/index.html>
- 国立国会図書館レファレンス協同データベース＞レファレンス事例詳細 http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000192245 2019-02-20 確認

- NDL リサーチナビ The Hussey Papers <https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/entry/YE-5.php>
2018-12-25 確認
- NDL リサーチナビ *Civil Affairs Handbook*. <https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/entry/CAH-1.php>
2018-05-27 確認
- *Civil Affairs Guide: Agriculture and Food in Japan*. War Department Pamphlet No.31-10, War Department, 15, July 1945. <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/4010690> 2019-02-25 確認。文書名:Records of the U.S. Strategic Bombing Survey = 米国戦略爆撃調査団文書 ; Entry 46, Security-Classified Intelligence Library. 1932-1947. 65 ft Civil affairs guide to agriculture and food in Japan. Report No. 25-a(3), USSBS Index Section 6

国立大学図書館協議会

- 国立大学図書館協議会 図書館建築基準に関する特別委員会『図書館建築基準に関する報告』平成3年6月 http://www.janul.jp/j/publications/reports/39/39_01.html 2019-02-19 確認

東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室

- 占領期図書館研究 第1集 占領期図書館研究の課題 研究代表者：根本彰（東京大学大学院教育学研究科）1999年3月 <http://plng.p.u-tokyo.ac.jp/text/senryoki/report98/>
2009-10-22 確認
- 占領期図書館研究 第2集 戦後アメリカの国際的情報文化政策の形成 科学研究費補助金報告書：「戦後図書館政策に対する米国図書館思想及び実践の影響過程についての実証的研究」（課題番号 10041005）根本彰編 2001年3月 <http://plng.p.u-tokyo.ac.jp/text/senryoki/report01/index.html> 2009-10-22 確認
- 占領期図書館研究 第3集 戦後教育文化政策における図書館政策の位置づけに関する歴史的研究 平成14年度・15年度科学研究費補助金（基礎研究 C(2)研究成果報告書（研究課題番号 14510267）平成17年3月 研究代表者 根本彰 <http://plng.p.u-tokyo.ac.jp/text/senryoki/report05/index.html> 2009-10-22 確認
- 根本彰・三浦太郎・中村百合子・古賀崇「占領期における図書館政策の推移—CIE 関係文書による」『日本図書館情報学会第47回研究大会発表要綱』『大阪市立大学学術情報総合センター、1999年、73-76頁。 <http://plng.p.u-tokyo.ac.jp/text/senryoki/gakkai99p.html> 2009-10-22 確認
- 根本彰「ALA プリンストン会議（1946）の開催経緯と勧告事項について（付き原文書）」『戦後アメリカの国際的情報文化政策の形成（占領期図書館研究第2集）』2001年3月、1-14頁。 <http://panflute.p.u-tokyo.ac.jp/~anemoto/text/senryoki/report01/nemoto.pdf>
2009-10-22 確認

東京都立図書館

- 今まど子『TLA(東京都図書館協会)の55年 パート1 小史』
<https://www.library.metro.tokyo.jp/pdf/15/pdf/part1.pdf> 2019-02-19 確認
- 東京都図書館協会『TLA(東京都図書館協会)の55年 パート2 データ集』
<https://www.library.metro.tokyo.jp/pdf/15/pdf/part2.pdf> 2019-01-28 確認

日本学術会議

- 地域別委員会 <http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/bunya/chiki/index.html> 2019-04-04
 確認

立命館大学図書館

- GHQ/SCAP Data Base Server <http://ghq.ritsumeai.ac.jp/> 2019-02-25 確認

早稲田大学図書館

- 『海國圖志』 卷一之二
http://archive.wul.waseda.ac.jp/kosho/ru01/ru01_03176/ru01_03176_0001/ru01_03176_0001.pdf
 2019-07-18 確認

<北米他のウェブサイト>

ABC-CLIO(出版社)

- *Online Dictionary for Library and Information Science, ODLIS* by Joan M. Reitz. ABC-CLIO https://www.abc-clio.com/ODLIS/odlis_about.aspx 2019-01-05 確認

Columbia University Libraries, Rare Book & Manuscript Library, Archival Collections

- *Edward C. Carter papers, 1851-1960*
http://www.columbia.edu/cu/lweb/archival/collections/ldpd_4078590/index.html 2019-04-15 確認
- *Finding Aid for Institute of Pacific Relations Records, 1925-1943*
https://library.columbia.edu/content/dam/libraryweb/locations/burke/fa/mrl/ldpd_11043785.pdf 2019-04-16 確認

Council on East Asian Libraries (Formerly, Committee on East Asian Libraries)

- *Journal of East Asian Libraries (CEAL Newsletter, CEAL Bulletin)*
<https://scholarsarchive.byu.edu/jeal/> 2019-02-19 確認
- *Council on East Asian Libraries Statistics – Published Statistics* <https://ceal.ku.edu/year-pdf-version> 2019-09-03 確認

Google Books

- United States. War Department, *Basic Field Manual FM 28-105 The Special Service Company*, U. S. Government Printing Office, 5 January, 1944. 2019-03-05 確認

HathiTrust <https://www.hathitrust.org/> 2019-02-19 確認

- Hall, Robert B., *Area Studies: With Special Reference to Their Implications for Research in the Social Sciences*, Social Science Research Council Pamphlet 3, May, 1947.
- Library of Congress, *Report of the Librarian of Congress*

- Library of Congress, *Library of Congress Information Bulletin*
- Library of Congress, *Quarterly Journal of Current Acquisitions*
- Smithsonian Institution, *Annual Report of the Board of Regents of the Institution for the Fiscal Year Ending June 30, 1912*, Government Printing Office, 1912.
- United States, *A Pocket Guide to Japan*, Government Printing Office, 1950.
- United States. War Department, *Technical Manual TM 28-305 Small Army Libraries*, U.S. Government Printing Office, 1944.
<https://catalog.hathitrust.org/Record/100659910> 2018-03-09 確認
- Army Information Branch, Troop Information and Education Division, War Department Special Staff, *Armed Forces Talk*
<https://catalog.hathitrust.org/Record/100889765?type%5B%5D=all&lookfor%5B%5D=Army%20Talk&ft=>
- Reorientation Branch, Office for Occupied Areas, Office of the Secretary of the Army, *Annual Report of Stateside Activities Supporting the Reorientation Program in Japan and the Ryukyu Islands*, October 1950; July 1951.
<https://babel.hathitrust.org/cgi/pt?id=wu.89096172358;view=1up;seq=35>
- Supreme Commander for the Allied Powers, .03, U. S. Government Printing Office, 1949
<https://catalog.hathitrust.org/Record/001149572?type%5B%5D=all&lookfor%5B%5D=Political%20Reorientation%20of%20Japan&ft=>

International Council on Archives

- *ICA Multilingual Archival Terminology*
<http://www.ciscra.org/mat/mat/termlist/1/English> 2019-07-02 確認

Internet Archive <https://web.archive.org/>

- Elizabeth T. Massey and Joseph A. Massey, *CULCON Report on Japanese Studies at Colleges and Universities in the United States in the Mid-70s*, for Subcommittee on Japanese Studies, U.S.-Japan Conference on Cultural and Educational Interchange, New York: Japan Society, Inc., March 1977.
https://ia802601.us.archive.org/1/items/ERIC_ED192618/ERIC_ED192618.pdf 2019-03-09 確認
- United States. War Department, *Basic Field Manual FM 28-105 The Special Service Company*, U. S. Government Printing Office, 5 January, 1944.
<https://archive.org/details/Fm28-105/page/n1> 2019-03-05 確認

National Association of Japan-America Societies

- CULCON, *On the Record: Media Directory of Japan Specialists*, <http://www.us-japan.org/otr/> 2019-02-19 確認

OSS REBORN <http://www.ossreborn.com/> 2019-03-06 確認

- United States. War Department. Office of the Assistant Secretary of War. Strategic Services Unit History Project, *War Report of the OSS (Office of Strategic Services) with a new introduction by Kermit Roosevelt*, Walker Publishing Co., 1976. v.1
<http://www.ossreborn.com/files/War%20Report%20of%20the%20OSS%20Volume%201>.

pdf および v.2

<http://www.ossreborn.com/files/War%20Report%20of%20the%20OSS%20Volume%20%20-%20The%20Overseas%20Targets.pdf> 2019-03-06 確認

Rockefeller Archive Center <https://rockarch.org/about/> 2019-02-19 確認

- Charles B. Fahs Papers, 1929-1979 Online Finding Aid
<http://rockarch.org/collections/individuals/rf/cbffindingaid.pdf> 2018-06-06 確認
- Rockefeller Foundation: A Digital History > Area Studies
<https://rockfound.rockarch.org/area-studies> 2019-02-19 確認

The Social Science Research Council <https://www.ssrc.org/> 2019-02-20 確認

- David Nugent, *Military Intelligence and Social Science Knowledge: Global Conflict, Territorial Control and the Birth of Area Studies during WW II*, New York: Social Science Research Council, June 14-15, 2007
<https://www.ssrc.org/publications/view/military-intelligence-and-social-science-knowledge-global-conflict-territorial-control-and-the-birth-of-area-studies-during-ww-ii/>
2019-02-20 確認

University of British Columbia Archives

- Fonds - John F. Howes fonds <https://www.memorybc.ca/john-f-howes-fonds> 2019-02-20 確認
- John F. Howes fonds Compiled by May Chan (2004)
https://www.library.ubc.ca/archives/u_arch/howes.pdf 2019-02-20 確認

University of California, Berkeley

- The Bancroft Library; Regional Oral History Office; China Scholars Series. *Elizabeth Huff, Teacher and Founding Curator of the East Asiatic Library from Urbana to Berkeley byway of Peking.*
<http://digitalassets.lib.berkeley.edu/rohoia/ucb/text/eastasiaticlibrary00huffrich.pdf>
2018-12-18 確認

University of California, Santa Barbara

- University of California, Santa Barbara> American Presidency Project>Franklin D. Roosevelt, 68 – Executive Order 9182 Establishing the Office of War Information,
<http://www.presidency.ucsb.edu/ws/index.php?pid=16273> 2018-05-25 確認
- University of California, Santa Barbara> American Presidency Project>Franklin D. Roosevelt, 69 - Order Establishing the Office of Strategic Services,
<http://www.presidency.ucsb.edu/ws/?pid=16274> 2018-05-25 確認
- University of California, Santa Barbara> American Presidency Project>Franklin D. Roosevelt, 111 - Executive Order 8922 Establishing the Office of Facts and Figures,
<http://www.presidency.ucsb.edu/ws/index.php?pid=16024> 2018-05-24 確認

University of Maryland

- *Marlene J. Mayo Oral Histories with Americans Who Served in Allied Occupied Japan.*
Colton, Kenneth (T1)

<https://prangecollection.files.wordpress.com/2016/10/coltonkenneth1.pdf> 2018-05-13
確認

- Sara Christine Snyder, *Odyssey of an archives: what the history of the Gordon W. Prange Collection of Japanese Materials teaches us about libraries, censorship, and keeping the past alive*, Master Thesis, University of Maryland, 2007.
<https://drum.lib.umd.edu/handle/1903/6954> 2018-11-06 確認
- University Libraries, *Introduction to Japanese Collection*
<https://www.lib.umd.edu/eastasia/japanese-collection/japanese-main> 2019-02-19 確認。
- University Libraries>プランゲ文庫>プランゲ文庫について>ゴードン・W・プランゲ博士 式典におけるプランゲ博士のスピーチ記録 [1979年5月5日]
https://www.lib.umd.edu/binaries/content/assets/public/prange/dedicationspeech1979_jap.pdf 2019-02-19 確認
- University of Maryland Center for East Asian Studies <http://www.ceas.umd.edu/>
2018-11-18 確認
- Finding aid, Records of the Office of the Director of Libraries, Special Collections, UM Libraries
<https://digital.lib.umd.edu/archivesum/actions.DisplayEADDoc.do?source=/MdU.ead.univarch.0056.xml&style=ead> 2018-11-04 確認

University of Michigan

- Library >Asia Library <https://www.lib.umich.edu/asia-library/about-asia-library-japanese-version> 2019-02-19 確認
- Center for Japanese Studies>History of CJS <https://www.ii.umich.edu/cjs/history-of-cjs.html> 2019-02-19 確認

インタビュー

<聞き取り調査>

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 岩猿敏生 | 2010年8月21日、於 大阪・千里阪急ホテル。 |
| 大城善盛 | 2010年11月24日、於 リーガロイヤルホテル（京都） |
| 加藤幹雄 | 2017年10月 於 国際文化会館 |
| 今まど子 | 2008年2月19日、於 国際文化会館 |
| 福田なをみ | 2005年9月5日。於 Jan's Hanai Care（ホノルルのグループホーム） |
| 渡辺信一 | 2010年8月21日、於 大阪・千里阪急ホテル。 |
| James Bartholomew & Maureen Donovan | 2013年3月24日、於 マンチェスター・グランド・ハイヤットホテル（サンディエゴ） |

Elizabeth Berry	2013年3月22日、於 マンチェスター・グランド・ハイヤットホテル（サンディエゴ）
John Campbell	2014年2月27日、於 本郷こころ
John Howes	2013年4月18日、於 国際文化会館
Marlene Mayo	2010年3月30日、於 メリーランド大学図書館
Clyde Nishimoto	2011年3月30日、於 ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ホテル（ホノルル）
Sharalyn Orbaugh	2011年3月30日、於 ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ホテル（ホノルル）
Frank Joseph Shulman	2010年3月29日、於 メリーランド大学
Weiyang Wan	2010年7月27日、於 ミシガン大学図書館
Samuel Yamashita	2011年3月30日、於 ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ホテル（ホノルル）

<書面・メールでの回答>

石松久幸	2019年2月2-5日
竹内愨	2016年2月16日、5月4日

論文の内容の要旨

本論文は、相手国に関する知識が「外国研究」として築かれていく過程において、「ライブラリー」に収集され蓄積される情報資源は、いかなる役割を果たすのか。その役割が、どのような組織や資金や制度や人材の関わりの中かで実現されてきたのかを、文化資源学の立場から分析するものである。とりわけ、ライブラリアン福田なをみの生涯の軌跡を縦軸にすえて日米の交流を歴史的に考察するのは、この人物がアメリカ合衆国と日本の両国の多様なライブラリーにおいて活動したという、希有な経歴をもつからである。

アメリカと日本とは、19世紀以降密接な関係をもち、相互に相応の外国研究の蓄積を擁する点で、本研究にとって戦略的な重要性をもつ。現在では地球上のあらゆる場所から瞬時に情報を受信することが可能になったが、異なる文化圏で発信された情報の意味の解釈に、その文化圏に関する知識が必要であることに変わりはない。160年余りの近現代史のなかで、日本はアメリカとの間で開国に始まり、移民や戦争や占領などさまざまな交流を経験してきた。日米双方はどのような資料によって、またどのような方策によって相手国に関する知識を構築してきたか。

異なる文化圏に関する正確な知識は、主として学術研究により築かれる。本論文では、ある文化圏（ここでは便宜的に国民国家を指定）を対象に、それとは異なる文化圏に属する主体が研究することを「外国研究」と呼ぶ。

本論で扱う外国研究（日本研究およびアメリカ研究）のありようの変化は、日米の外交関係の開始から1世紀余りの間に起きた両国関係の変化にも左右された。アメリカの日本への関心は、国交開始後しばらくは実業家や宗教関係者が中心だったが、日露戦争の勝利によって日本の台頭が注目を浴びると極東の状況は学問的対象となり、太平洋戦争前夜に急速にそれが進展した。そして日米は二国間関係の極である戦争に突入し、その後の日本占領で二国の密接化はピークを迎える。占領終了後は「日本経験」を有するアメリカ人により日本研究が進められるようになった。この歴史的な展開の中で、日本とアメリカが相手国を研究対象とする際の資料や情報資源はどのようなものだったか。日本の場合とは非対称だったが、アメリカの場合は日本に関する研究にどのような素材が用いられ、その利用可能性はどのように広められたか。

この問いを解きほぐすために、第二次大戦前、戦中・戦後の時代を通して活動した、

日本研究ライブラリアンの草分けの一人、福田なをみ（1907-2007）を取り上げ、彼女の活動に沿って「外国研究」の展開を跡付ける。福田の現場は日米両国におけるライブラリーであったが、日本ではアメリカに関する情報を、アメリカでは日本に関する情報を扱った。彼女の軌跡を追うことから、日米両国が相手国をどのような情報資源から理解しようとしていたか、彼女は日本研究ライブラリアンとしてどのように米国の研究者の日本に関する調査・研究を支援したか、などを検討する。そして、日本の図書館界とアメリカの学界・図書館界との接点をつとめた一人の足跡と役割を明らかにすることを通じて、日米交流史を背景にしたライブラリーの情報資源を「外国研究」の研究過程の位相において捉え直し、情報資源と研究の関係を解明することに挑んでいる。

第一章「日本の中のアメリカ、アメリカの中の日本—福田なをみの生い立ちと教育—」では、福田がアメリカ留学経験のある牧師の家庭に育ち、幼くして母を亡くし長く寮生活を送ったこと、1929年に東京女子大卒業後、来日宣教師の日本語教師となり、その過程でロバート・ライシャワーの日本研究の助手となって渡米しミシガン大学に留学、図書館学を学んで米国議会図書館（LC）で働いた後に1940年9月に帰国するまでを追った。幼少期から修業時代をたどると家庭環境でも教育環境でも、福田は、常にアメリカ人との関わりの中で生活していたことが判明した。英語を専攻した教育とは反対に、職業上、日本語あるいは日本についての知識を蓄積しなければならなかった。LCの日本語資料部門では、アメリカの知的世界において日本および日本語資料がどう扱われているかを経験した。

第二章「日米親善から敵国情報へ」では、1940年から1941年にかけて福田が日本で収集を手伝ったLCの日本語資料と日本の帝国図書館の外国資料を比較し、違いを浮き彫りにした。戦時中、福田は大学図書館で和書および洋書の目録作業に携わり、また外務省で雑誌記事を選択する情報サービスを担当したことを明らかにした。その文脈を検討するために、日本におけるアメリカ研究の概況と情報資源の状況、および外務省の情報収集体制の概要を追った。相手国研究ならびにその情報資源収集への取り組みを比較すると、日米親善を期して収集・形成された相手国に関する知識・情報を担う資料群が次第に敵国情報資源へと性格を変えていった様相が明らかになった。

第三章「軍政とライブラリー」では、福田が仕事をしたGHQ関係のライブラリーについて検討した。アメリカ政府は日米開戦前から戦争遂行のための情報資源収集に注力した。LCの日本語資料はその中核的な位置を担い、そこではとくに日本の現況を示す情報資源が求められた。日本語資料から次々に英文資料が作成され、それが占領政策の基礎的情報資源となった。敵国情報は軍事情報に限らず対象国全体の状況を把握しようと

するもので、戦後、その手法がアメリカの外国研究の方法論に取り入れられ、地域研究へと変化していった。

GHQ 各部署のライブラリーは、部署の目的に応じて外部情報収集・蓄積、組織内の情報蓄積・伝播など、様々な用途で設けられていた。福田は軍政用ライブラリーならびに将兵用ライブラリーで仕事をしたため、これら両方のタイプについて概要や特質の把握を試みた。

福田は、占領政策の一環であった国立国会図書館の創立期に関わった。議会用の図書館から全国民にもサービスを提供する図書館として同館が生まれ変わるための業務見取り図を描いたのは GHQ により派遣されたダウンズだが、福田は彼の助手として、彼と日本の図書館界との橋渡しの役割を果たした。その後、結核のため療養所にあったにもかかわらず、福田はミシガン大学や日本図書館学校から仕事の誘いを受けた。そのことには、アメリカの図書館人や日本研究者たちの福田に対する期待と信頼が示されている。

第四章「国際交流から日本研究へ」では、国際文化会館図書室長時代の福田の足跡を追った。親組織の国際文化交流団体の性格に沿って福田も図書館の文化交流を精力的に行った。その代表例としてアメリカ図書館研究調査団プロジェクトを取り上げて詳論し、日本の図書館史における調査団の影響を評価した。福田が中心となって編纂・出版した『日本の参考図書』は調査団の成果の一つだが、同書はその後英訳されアメリカで日本研究の基本参考図書となった。

国際文化会館図書室の蔵書に基づいたサービスでは、当初に計画された役割は海外思潮を表す書物の日本人学者への提供だったが、蔵書には日本関係欧文図書が増えて行った。主要利用者の来日学者の大多数が日本研究者だったこと、日本との交流で来日した文化人の多くが日本語が読めなかったこと、が、この変化の要因である。日本研究者支援の面では、日本語一次資料に関する情報要求に応えるのも福田の重要な仕事となった。

第五章「アメリカの日本研究とライブラリー」では、福田が 1937 年、アメリカで日本語講師として本格的に日本研究と関わり始めたことから、最初にアメリカの日本語教育の発展過程を追った。研究資料の活用を左右する日本語能力の養成は、日本研究の情報資源環境形成と密接な関連がある。

続いて二つのアメリカの日本研究図書館における福田の仕事を追跡した。福田がメリーランド大学で働いた 1969 年、GHQ 歴史課長だったプランゲがアメリカに持ち帰った資料（主として GHQ の検閲資料）はまだ同大学図書館の倉庫に眠っていた。プランゲの資料の性質は、本来的にアーカイブズ資料であり研究の一次資料だったが、資料の大半が出版物であったため、メリーランド大学では図書・雑誌などの図書館一般資料として

扱われ、アーカイブズ資料とは認識されていなかった。

福田が次に赴任した 1970 年代のミシガン大学図書館では、研究の主力がおかれていた社会科学分野中心に日本語資料を広範に収集し、マイクロフィルムによる一次資料収集に特徴がみられた。戦後アメリカ人の日本語能力のレベルが上がり、日本語の一次資料を読みこなすことが研究上の必須事項となった。したがって、日本研究図書館に求められた情報資源でも、研究のための一次資料の重要性が増した。

終章「外国研究とライブラリーの情報資源」では、福田がライブラリーの現場で必要と考えた情報資源を自ら創り出してきたことを指摘した。福田の活動を縦軸に置いたことにより、蔵書形成の経緯、研究分野や資金源の他にもアクセス手段（語学力や探索ツールなど）の有無が日本研究の資料群に作用することが明らかになった。さらに福田が創り上げた二種類の外国研究図書館、すなわち日本関係欧文図書を収集する日本の日本研究図書館および日本語資料を収集するアメリカの日本研究図書館において扱われた資料群を、研究の位相から分析した。資料群を研究の位相におき資料の言語を補助線に用いて分析すると、一方の日本関係欧文図書は日本研究の成果、もう一方のアメリカにおける日本語図書館の蔵書は研究素材・研究対象で、この二つが補完関係にあることを明らかにした。また、研究図書館における図書館資料群を、アーカイブズ資料との関係から論じた。